宮崎スポ協

みやざきのスポーツを応援！

令和6年3月発行
vol.223
公益財団法人宮崎県スポーツ協会

巻頭特集
2024パリオリンピックを目指して
清山ちさと（陸上競技）

写真提供：県スポーツ協会

写真提供：本人

巻頭特集
2024パリオリンピックを目指す後輩達へ！
原 希美（のぞみ）（ハンドボール競技）

CONTENTS

[巻頭言]
公益財団法人宮崎県スポーツ協会
会長　春山豪志
•特別国民体育大会等報告
•みやざき県民総合スポーツ祭
•宮崎チャレンジマッチ「ウエイトリフティング競技」
•宮崎県スポーツ少年団
•宮崎県総合型地域スポーツクラブ
•世界へはばたけ!宮崎ワールドアスリート
発掘・育成プロジェクト
•スポーツ医・科学委員会便り
•公益財団法人宮崎県スポーツ協会表彰（一般・小中高）
•日本スポーツ少年団・宮崎県スポーツ少年団
指導者・単位団表彰
•スポーツ界における暴力行為等の根絶に関すること
•公益財団法人宮崎県スポーツ協会役員御挨拶
•令和5年度事業概要
•公益財団法人宮崎県スポーツ協会役員
•賛助会員
•2027日本のひなた宮崎国スポ・障スポ
•広告
•編集後記
•チームみやざき応援グッズ紹介

Let's enjoy ひなスポ!

公益財団法人宮崎県スポーツ協会
宮崎スポ協
vol. 223
令和6年3月発行

CONTENTS

巻頭言
公益財団法人宮崎県スポーツ協会
会長　春山豪志　「県民全員がスポーツ」 …… 01

巻頭特集
1 2024パリオリンピックを目指す後輩達へ!
元ハンドボール女子日本代表 **原 希美（のぞみ）選手** …… 02
2 2024パリオリンピック・パラリンピックを目指して
パリオリンピックを目指して **清山ちさと選手** …… 03－04
（「いちご」所属）

〈特別国民体育大会・国民スポーツ大会・九州ブロック大会報告〉
九州ブロック大会 …… 05
特別国民体育大会 …… 06－08

みやざき県民総合スポーツ祭報告 …… 09－10

宮崎チャレンジマッチ「ウエイトリフティング競技」報告 …… 11－12

宮崎県スポーツ少年団の活動について
〈単位団紹介〉広瀬西スポーツ少年団（バレー男子）・江南スポーツ少年団（バレー女子）
恒久FC（サッカー）・西米良中剣道部 …… 13－14

宮崎県総合型地域スポーツクラブについて
●登録認証制度のメリットについて …… 15
●宮崎県の総合型地域スポーツクラブの紹介（登録されたクラブ）
〇特徴的な活動のあるクラブ「NPO法人 都農enjoy SC」「一般社団法人 とみさか」 …… 16

世界へはばたけ!宮崎ワールドアスリート発掘・育成プロジェクト …… 17－19

〈スポーツ医・科学委員便り〉
●「パリ・パラリンピックへ向けてのこれまでの軌跡（ボッチャ競技）」
宮崎大学病院　病院長　帖佐　悦男 …… 20
●「2027宮崎国スポ障スポに向けたメディカルサポート体制の構築ースポーツ庁委託事業ー」
宮崎大学医学部感覚運動医学講座整形外科学分野　医師　田島 卓也 …… 21

公益財団法人宮崎県スポーツ協会表彰（一般） …… 22－24

公益財団法人宮崎県スポーツ協会表彰（小中高） …… 25－30

日本スポーツ少年団・宮崎県スポーツ少年団指導者・単位団表彰 …… 31

〈スポーツ界における暴力行為等の根絶に向けた取組〉
「徹底した管理指導と自主性重視の指導の違い」 **名城大学女子駅伝部　監督　米田　勝朗** …… 32

公益財団法人宮崎県スポーツ協会役員御挨拶
新任副会長の御挨拶 …… 33－36
副会長退任の御挨拶 …… 37－38

令和5年度事業概要 …… 39－40

令和5年度公益財団法人宮崎県スポーツ協会役員 …… 41

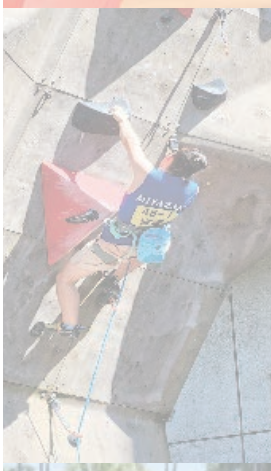
令和5年度賛助会員 …… 42

2027日本のひなた宮崎国スポ・障スポ …… 43－46

協賛広告 …… 47－60

〈編集後記〉藤本　格　専務理事 … 61

チームみやざき応援グッズ



県民全員がスポーツ

公益財団法人宮崎県スポーツ協会
会 長 **春山 豪志**

本県スポーツの競技者、指導者、支援者、そして観戦者の皆様など、スポーツに関わる方々等、スポーツに関係される全ての皆様におかれましては、日頃からスポーツの普及・振興、競技力向上等に御尽力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、本協会の上部団体『日本スポーツ協会』では、５年後の望ましい未来像を描き、スポーツの力で社会課題を解決するために、「地域スポーツの最適化」「多様性の尊重」「スポーツ・インテグリティの強化」「次世代につなぐ新たな仕組みの実現」を目指し、取り組んでいるところであります。

特に、2020 東京オリンピック・パラリンピック後のレガシーとして、子どもや大人、高齢者や障がい者のスポーツ参加・交流を推進する地域スポーツの創造に、これらのことを取り組むことが重要であり、これまで学校で抱え込んでいた部活動も、こうした中に取り込み、子どもたちが望むスポーツを多様な関わりで楽しめるよう、小・中学生のジュニアスポーツ環境の選択肢の拡大を推し進めることとしております。

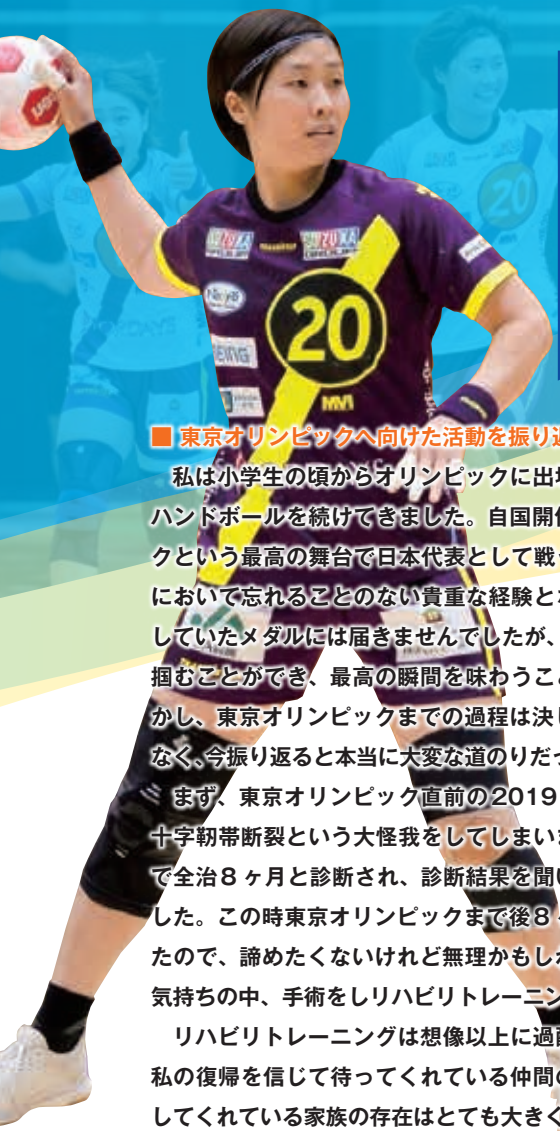
この事から、これから「地域から部活動」を考える時代となり、本協会が所管するスポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブの役割も重要になってくるものと考えております。

また、２０２７年に本県で開催予定の「第８１回国民スポーツ大会・第２６回全国障害者スポーツ大会」に向け、県では 2024 年度から新組織「宮崎国スポ・障スポ局」を知事部局に新設し、開催準備や国スポでの天皇杯獲得に向けた官民一体の取り組みを加速させるとともに、市町村や企業との連携による成年種別の選手獲得、育成や強化などに力を入れてまいります。

本協会でも、この両大会の開催を、「県民がスポーツに親しむ機会を広げるきっかけ」とし、県全域に新設されるスポーツ施設等を活用し、県民の健康増進、地域創生にもつながるよう関係機関と協力して参りたいと思います。

小中学生から高齢者まで幅広い年齢の方々が、「県民全員がスポーツ」を合言葉に、本県のスポーツを盛り上げて参りたいと考えます。

今後とも皆様のさらなるのお力添えをお願い申し上げ、巻頭のことばとさせていただきます。



巻頭特集 1

2024オリンピックを目指す後輩達へ!

元ハンドボール女子日本代表
原(のぞみ) 希美

■ 東京オリンピックへ向けた活動を振り返って

私は小学生の頃からオリンピックに出場することを目標にハンドボールを続けてきました。自国開催の東京オリンピックという最高の舞台で日本代表として戦うことができ、人生において忘れることのない貴重な経験となりました。目標としていたメダルには届きませんでしたが、45年ぶりの勝利を掴むことができ、最高の瞬間を味わうことができました。しかし、東京オリンピックまでの過程は決して簡単なものではなく、今振り返ると本当に大変な道のりだったと感じています。

まず、東京オリンピック直前の2019年11月に右膝の前十字靭帯断裂という大怪我をしてしまいました。競技復帰まで全治8ヶ月と診断され、診断結果を聞いたときは絶望しました。この時東京オリンピックまで後8ヶ月という状況だったので、諦めたくないけれど無理かもしれないという複雑な気持ちの中、手術をしリハビリトレーニングに励みました。

リハビリトレーニングは想像以上に過酷なものでしたが、私の復帰を信じて待ってくれている仲間の存在やいつも応援してくれている家族の存在はとても大きく、苦しいリハビリトレーニングも前向きに取り組むことができました。

そして、コロナウイルス感染拡大での緊急事態宣言。

連日、東京オリンピックの開催の有無に関してのニュースが流れていました。本当に開催されるのかという不安な気持ちの中、オリンピックの1年延期が決定しました。当時の心境としては、オリンピックが1年延期されたことを喜んでいいのかわかりませんが、私にとってはかなりプラスでした。怪我をしてから急いで復帰に向け進んでいたので、これで時間をかけてしっかり治せると思ったからです。実際、東京オリンピックが通常開催されていたら、万全な状態ではなかったと思うので、私はメンバーに選ばれていたかもわかりません。1年という時間は私にとって、とても大きなものになりました。

当時を振り返ると強化合宿も中止になり、制限のある中での練習や密を避けての活動だったので大変なこともたくさんありましたが、その中でマイナスなことに目を向けるのではなく、今できることに集中して取り組むことができた1年だったと思います。コロナ禍という大変な状況を乗り越えたからこそ、チームとしての絆もより深まり「ONE　TEAM」でオリンピックに臨むことができたと感じています。

東京オリンピックの舞台に立つまでにたくさんの試練がありましたが、最後まで諦めずに自分自身を信じ続けてきてよかったなと心から思いました。

「オリンピックに出場する！」という大きな目標があったからこそ、私は今まで競技を続けてくることができたと思いますし、オリンピックの舞台に立ってみて思うことは、人生をかけて目指すべき価値のあるものだということです。

オリンピックの舞台に立つことができたのも本当にたくさんの方々の支えがあり、応援してくれる方々の存在があってこそなので、私に関わってくださったすべての方々に改めてこの場を借りて感謝の気持ちを伝えたいです。本当にありがとうございました。

■ パリオリンピックを目指す後輩たちへメッセージ

パリオリンピックを目指してる皆さんは、日々競技と向き合い厳しい練習に励んでいることと思います。パリオリンピックまで1年を切りましたが、自分自身が後悔なくやりきったと思えるよう、今という時間を大切に過ごしてほしいと思います。宮崎から日の丸を背負い、世界へ羽ばたいていく選手が出ていくことをとても楽しみにしています。

■ ２０２７年宮崎国スポ・障スポに向けて

4年後には宮崎県で第81回国民スポーツ大会、第26回障害者スポーツ大会が開催されます。

私も何度もこの国民スポーツ大会に参加してきましたが、地元宮崎で開催されるというのはとても大きな意味があります。私自身もこれまでの経験から宮崎県のために何ができるのかを考え日々活動していき、その成果を必ず結果に繋げられるよう取り組んでいきたいと思います。

2027年宮崎国スポ・障スポを最高の大会にできるよう皆さんで一致団結して盛り上げていきましょう。

■ 宮崎県で頑張っている後輩たちへのメッセージ

私は宮崎県でハンドボールというスポーツに出会い、今まで競技を続けてきました。ここ宮崎県でたくさんの方々との出会いがあったからこそ、自分自身大きく成長できたと思っています。何かに夢中になれることは本当に素晴らしいことだと私は思います。目標を持って日々努力を積み上げていってほしいです。

今までもこれからも人との出会いを大切にしていき、感謝の気持ちを忘れずに大好きなスポーツに励んでほしいと思います。皆さんの活躍を心から応援しています。

（写真提供：本人）

巻頭特集2

2024パリオリンピック・パラリンピックを目指して

清山 ちさと

（「いちご」所属）

「将来の夢はオリンピック選手になることです」

小学６年生の私は卒業文集でこのように記しています。2003年パリ世界選手権で男子200m銅メダルに輝いた末續選手をテレビで見ながら、幼いながらに私もこうなりたい！とこの夢を抱きました。この夢を追い続けて早20年が経ち、紆余曲折ありましたが今もなおオリンピック出場を胸に陸上競技を続けています。

木花中学校から宮崎商業高校、筑波大学、同大学院、そして現在いちご株式会社（宮交シティ）に所属しながら、宮崎を拠点として活動しています。

高校３年時にインターハイ、国体、日本ジュニアの三冠を果たし鳴り物入りで筑波大学へ入学したのですが、度重なる怪我（右脛骨疲労骨折）で上手くいかずなかなか日の目を浴びることはありませんでした。走れない事を受け入れられず気持ちばかりが先行して焦ってしまい、痛みを我慢して感情に任せてトレーニングをしていた時期もありました。復帰までに時間がかかり、より苦しむ事になり大学時代は自分の気持ちと身体のコントロールにとても悩みました。競技場に行きたくない、みんなが走っている姿を見たくない、素直に応援できない、そんな時期もありました。言葉では言い表すことの出来ないたくさんの壁を乗り越えたこと、さらにハードルブロック長や女子主将を任せていただいたことも人として成長ができ、そのおかげで今の自分が形成されていると思います。あの日陰の時間があったからこそ、ここまで続けられているのだと思うと、結果的に怪我をして得られたことがあり自分に必要な時間だったと感じます。

大学卒業後は宮崎から世界を目指すという大きな目標を持って、８年前に宮崎に帰ってきました。大好きな宮崎でお世話になった指導者の元でまた頑張りたいと思い、一大決心しました。宮崎に帰ってきてからは同じような境遇にいる仲間が居ない孤独を味わうようになり、またもや壁にぶち当たります。田舎ではできない、ひとりじゃ厳しい、そんな言葉を投げられた時もあります。それでもひたすらに目標に向かって続けてきました。

30歳を超えて、「なぜそこまで頑張れるのか？」「何がモチベーションなのか？」そんな事をよく聞かれるようになりました。私自身も30歳を超えて競技を続けていることは想像もしていませんでしたし、東京オリンピックを機に引退しようと思っていました。ところがオリンピックイヤーの前年に大きな怪我（股関節裂離骨折）をしてしまい、せっかくここまで積み重ねて来たものが一気に崩れ去りオリンピック出場という夢が儚く散ってしまいました。自分が出場を目標にしていた自国開催のオリンピック、テレビで見ることが出来るのだろうか。素直に応援できるだろうか。と思っていたのですが、同じいちご株式会社所属のウエイトリフティング部三宅宏実さんが最後の引退試合という事で応援する事にしました。すると食い入るようにテレビを見つめ、手に汗を握りながら応援していて、気がつくと試合が終わった時に涙が溢れていました。身も心もボロボロになりながら戦う三宅さんの姿を見て、私の中で何かが動き出し「やっぱり私もオリンピックに出たい。」という強い思いがまた生まれ始めました。今までオリン

ピックに出たいという夢から少しずつ手の届く目標に変わって行き、何年も思い続けていたのは確かです。それでもいつからか周りのためにこの目標を言わなきゃいけない、達成しなきゃいけないという自分への足枷になってしまっていました。大事な場面で失敗したらどうしよう、ここで負けたらどうしよう。そういう負のイメージへ繋がる感情が生まれてしまっていたのは、本当に自分が達成したい・なりたいという思いが薄れてしまっていたからだと思います。

しかし東京オリンピックの三宅さんの姿を見て、私もこの人のようになりたいと再確認できました。2003年パリ世界選手権での末續さんの走りと同じように、三宅さんから感動と刺激をもらい本当の意味で本気になれたと思います。今は誰かのためじゃなく、自分のために、小学6年生の時に抱いたオリンピック出場という夢を20年越しに叶えるために走り続けています。

社会人になり周りにたくさんの方々の支えがあり、チームができ、オリンピック出場という目標に向かって毎日活動できています。1人の女の子が持った夢に、たくさんの方々の思いを乗せて、そしていい意味でたくさんの方々を巻き込んで陸上が出来ていることはとても幸せな事です。それと同時にこの環境で競技が続けられていることにとても感謝しております。

近年女子ハードル界のレベルが上がり、記録の推移が著しく底上げされています。そのおかげもあり、私も波に乗って日本人女子史上5人目の12秒台ハードラーの仲間入りを果たしました。パリオリンピックへの出場権獲得には、標準記録の突破あるいは世界ランキング40位以内に加えて日本選手権3位以内が必須となります。国内争いも熾烈になり、私達は毎試合ヒヤヒヤしたものとなるのですが、見ている方々は見応えあるレースになっておりますのでぜひ注目して見ていただきたいです。

掴めそうで掴めないふわふわしたものを追い続けてきた20年間でしたが、やっと目標を自分の近くに感じ現実味のある

掴めそうなしっかりとしたものになって来ました。全ての思いを乗せて、集大成として必ずパリオリンピック日本代表になる事を実現させます。宮崎県代表として世界へチャレンジする姿を見て、私を通して非日常の体験を、ワクワクを感じてくれると嬉しいです。

そして、私のように何か夢を持って頑張れる人達がたくさん現れてくれると光栄だなと感じます。支えて下さる全ての方々に感謝の気持ちを込めて、まだまだ突っ走りたいと思います。今後とも応援のほどよろしくお願いいたします。

（写真提供：県スポーツ協会・本人）

令和5年度国民体育大会

第43回 九州ブロック大会（大分大会）

〈代表権獲得競技（夏季大会・秋季大会）19競技38代表権数〉

■ 夏季大会5競技17代表権

NO	競技名	種別・種目
1	テニス	成年男子
2	〃	成年女子
3	ローイング	成年男子　シングルスカル
4	〃	成年女子　舵手付きクォドルプル
5	〃	少年男子　ダブルスカル
6	〃	少年女子　シングルスカル
7	馬　術	成年男子
8	〃	成年女子
9	〃	少年　個人
10	〃	少年　団体
11	カヌー	成年女子スラロームカナディアンシングル
12	〃	成年女子　カヤックシングル
13	〃	少年男子　カヤックシングル
14	〃	少年男子　カナディアンシングル
15	〃	少年女子　カヤックシングル
16	〃	少年女子　カヤックフォア
17	ボウリング	少年男子

カヌー競技

■ 秋季大会14競技21代表権

NO	競技名	種別・種目
1	サッカー	成年男子
2	〃	少年女子
3	ボクシング	成年男子
4	〃	成年女子
5	〃	少年男子
6	バレーボール	成年男子
7	〃	少年女子
8	バスケットボール	少年男子
9	〃	少年女子
10	ウエイトリフティング	成年男子
11	ソフトテニス	成年男子
12	〃	少年男子
13	フェンシング	成年女子
14	柔　道	女子
15	ソフトボール	成年男子
16	〃	少年男子
17	バドミントン	成年男子
18	弓　道	成年女子
19	ライフル射撃	少年男子　AR60J
20	剣　道	成年女子
21	なぎなた	少年女子

スポーツ・クライミング競技

空手道競技

体操競技

ホッケー競技

フェンシング競技

サッカー競技

テニス競技

サッカー競技

燃ゆる感動 かごしま国体

特別国民体育大会　熱い鼓動　風は南から　2023

総合成績

天皇杯得点　942.5点　27位（令和4年　834.5点　32位）
皇后杯得点　584.5点　23位（令和4年　537.5点　31位）

季別男女総合

冬季大会33位　30点
本大会　24位　912.5点　累計942.5点

季別女子総合

冬季大会30位　20点
本大会　21位　564.5点　累計584.5点

競技別総合成績

男女総合

1位　ゴルフ競技
2位　ボクシング競技
4位　サッカー競技
6位　カヌー競技

女子総合

1位　ゴルフ競技
3位　カヌー競技
5位　サッカー競技
5位　自転車競技
6位　弓道競技
7位　剣道競技
8位　ローイング競技

特別国民体育大会 結団壮行式

〈決意表明〉
フェンシング競技成年女子
永田　さつき　監督兼選手

〈団旗授与〉
テニス競技少年男子
大岐　優斗　選手

〈激励のことば〉
濵砂　守 宮崎県議会議長

現地結団式

（写真提供：県スポーツ協会）

ゴルフ競技が初の天皇杯総合順位1位

ボクシング競技が天皇杯総合順位2位

カヌー競技

少年女子500m
カヤックフォア1位等

弓道競技

成年女子(遠的)1位

レスリング競技

少年男子 前原晟人選手
(都城西高校)2位入賞等

サッカー競技

成年男子 宮崎選抜　3位入賞
少年女子 宮崎選抜　5位タイ入賞

自転車競技 女子

岩元杏奈選手(宮崎県スポーツ協会)
5位入賞等

ウエイトリフティング競技 女子

宮越由依選手(金沢学院大学)6位入賞
中嶋梨香子選手(株式会社宮崎放送)8位入賞

燃ゆる感動かごしま国体 宮崎県選手団 戦いの軌跡

バレーボール競技少年女子

剣道競技成年女子

空手道競技成年女子組手

テニス競技少年男子

フェンシング競技成年女子

水泳競技（競泳）少年男子

ローイング競技成年女子

銃剣道競技成年男子

（写真提供：県スポーツ協会）

令和5年度 みやざき県民総合スポーツ祭

本年度は、令和５年６月３日(土) ひなた武道館主道場で総合開会式を開催するとともに、県内６市７町５７会場にて５６競技が実施されました。残念ながら、サーフィン競技が台風接近の為、スキー競技がスキー場閉鎖(令和４年９月の台風によるアクセス道路の被害のため) の為に中止となりました。

延べ１１，０５９人が参加し、日頃の練習の成果を大いに発揮してくれました。中でも、陸上競技で１１個、水泳競技で６個の大会新記録が出ています。久しぶりに、観客等の制限をなくしたことで、選手の一生懸命頑張る姿や熱い応援で、コロナ以前の活気を取り戻した大会となりました。

期 日

〈メ イ ン 開 催〉 令和５年 ６月 ３日(土) ４日(日)

〈事前・事後開催〉 令和５年 ５月２１日(日) ２７日(土) ２８日(日)
６月１０日(土) １１日(日) １８日(日) ２５日(日)
７月 ２日(日) ９日(日) １５日(土) １６日(日)
７月３０日(日) ８月６日(中止)
９月 ３日(日) １４日(木) ２月(中止)

計１６日間

会 場

〈総合開会式〉 ひなた武道館主道場

〈競 技〉 県内６市７町５７会場
(宮崎市、延岡市、日南市、小林市、日向市、西都市、門川町
国富町、綾町、高鍋町、新富町、木城町、川南町、五ヶ瀬町(中止))

本大会の状況

〈参加者数〉

	令和５年度	令和４年度	令和３年度	令和２年度
参加者総数	11,059名	10,959名	5,117名	1,452名
(前年比)	(＋100名)	(＋5,842名)	(＋3,665名)	(－14,838名)
選手団	8,902名	8,409名	4,222名	1,061名
式典関係	531名	528名	0名	0名
本部・競技役員	1,499名	1,894名	774名	391名
実行委員	127名	128名	121名	0名

〈総合開会式〉

① アトラクション	んまつーポス
② 旗手	各市郡体育・スポーツ協会１名、交流・レク代表１名
③ 選手宣誓	西諸県郡スポーツ協会 東 康太 選手(ウエイトリフティング競技)
④ 県教育長表彰	生涯スポーツ功労賞(個人９)、生涯スポーツ優良団体(団体４)
⑤ 県スポーツ協会表彰	スポーツ功労賞(個人１０・団体１)
	スポーツ優秀賞(個人１８)、スポーツ奨励賞(２)

〈競　技〉

① 実施競技数　５６競技(全５９競技)
② 大会新記録　陸上競技１１個、水泳競技６個

■ 総合開会式(表彰式の様子)

■ 総合開会式での選手宣誓
(西諸県郡スポーツ協会　東　康太　選手)

■ 弓道競技の様子

■ ソフトボール競技の様子

■ ウエイトリフティング競技の様子

■ 相撲競技の様子

(写真提供：県スポーツ協会)

第13回宮崎チャレンジマッチ「ウエイトリフティング競技」の報告

宮崎チャレンジマッチ実行委員会

開会セレモニー①

開会セレモニー②・実行委員長挨拶

開会セレモニー③

協賛品・記念品贈呈

第１３回宮崎チャレンジマッチ「ウエイトリフティング競技」がMRT宮崎放送・UMKテレビ宮崎・宮崎県・宮崎県教育委員会・公益財団法人宮崎県スポーツ協会の主催で６月２５日(日)、ひなた宮崎県総合運動公園体育館にて開催された。

チャレンジマッチ　女子の部

今大会では、全国高校総体や全国選抜大会などで優勝者や上位入賞者を多数輩出している全国屈指の強豪校、京都府立海洋高等学校ウエイトリフティング部１６名(女子３名、男子１３名)の選手を迎え、本県選抜選手１３名(女子４名、男子９名)が６階級(女子２階級・男子４階級)においてチャレンジマッチを実施した。

女子の部では、５５ｋｇ級のジュニア日本記録保持者の川﨑菜々紗選手(京都府立海洋高３年)がスナッチ８５ｋｇ・クリーン＆ジャーク１０１ｋｇ・トータル１８６ｋｇと高校生Ｎｏ．１の実力を発揮し、優勝した。本県選抜選手では、５９ｋｇ級の小野舞花選手(県立小林高３年)が３回目のスナッチで自己記録を１ｋｇ更新し、スナッチ６６ｋｇ・クリーン＆ジャーク７３ｋｇ・トータル１３９ｋｇで優勝した。

男子の部では、今大会、大注目のジュニア日本記録保持者の東楽映選手(京都府立海洋高３年)がケガのため欠場となってしまった。６１ｋｇ級は、昨年度の全国選抜大会で優勝した泊幸大郎選手(京都府立海洋高３年)が、２位に

チャレンジマッチ　男子の部

閉会セレモニー

６０ｋｇ以上の大差をつけるスナッチ１００ｋｇ・クリーン＆ジャーク１２５ｋｇ・トータル２２５ｋｇで優勝した。また、８９ｋｇ超級では、中学生記録保持者の辰巳航大選手（京都府立海洋高１年）が、スナッチ１２５ｋｇ・クリーン＆ジャーク１５７ｋｇ・トータル２８２ｋｇで優勝し、１年生とは思えないパフォーマンスで、他を寄せ付けなかった。本県選抜選手では、全九州高校総体で優勝した園田冴王選手（県立小林秀峰高３年）が７３ｋｇ級に出場し、スナッチ１１１ｋｇ・クリーン＆ジャーク１３３ｋｇ・トータル２４４ｋｇで優勝した。自己記録には届かなかったものの、好調ぶりをアピールした。

各種大会が続き、タイトなスケジュールの中での本大会開催となったが、京都府立海洋高等学校の選手は、実力どおり全国トップレベルのパフォーマンスを発揮してくれた。また、ウォーミングアップの取組や、試合に臨む姿勢、雰囲気作りなど、インターハイを控えた本県選手にとって、とても実りのある大会となった。

なお、大会前日には、京都府立海洋高等学校ウエイトリフティング部の川﨑さとみ監督（世界選手権銀メダリスト）を講師に招いて交流練習会を実施した。重量よりも、フォームや床の反発など基本動作に重点を置いた反復練習の大切さについて熱心に御指導いただき、選手だけでなく、本県指導者にも大変貴重な時間となった。

最後に、今大会の開催にあたり、御支援いただいた協賛各社等の皆様、選手選考から大会の準備・運営に御尽力くださった宮崎県ウエイトリフティング協会、そして多くの県民の皆様に心から感謝申し上げます。

選手インタビュー

選手インタビュー

競技団体代表挨拶

参加選手　集合写真

（写真提供：県スポーツ協会）

第21回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会 出場チーム

〈男子〉広瀬西バレーボールスポーツ少年団男子（宮崎市）

■ 稲田大輔監督･重平康秀コーチ　部員11名

創部８年目で昨年８月に宮崎県代表として東京都で開催された全国大会に出場し、目標であつた全国大会出場の夢を達成しました。また、昨年10月に開催されたほっともっと宮崎県大会で優勝し今年３月に宮城県で開催される第21回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会に出場が決定しました。６年生にとっては最後の大会となるので、チーム一丸となって勝利を目指します。
応援よろしくお願いいたします。

永池 亮太
一試合でも多く勝って最後の大会を笑顔で楽しみたいです。

三澤 慶燿
みんなで必死に練習をしてきたので、一致団結して優勝を目指します。

松木 晃己
小学生最後の大会なので悔いのないように頑張ります。

川﨑 碧優輝
憧れるのはやめましょう!!勝つことだけを考えていきたい。

下釜 悠聖
６年生が安心して試合ができるように、後ろで一生懸命守りたい。

濱砂 喜
たくさん声を出してチームを盛り上げて一本でも多くレシーブを取って勝ちたいです。

〈女子〉江南スポーツ少年団（宮崎市）

江南スポーツ少年団のモットーは、『明るく、楽しく、元気よく』です。
練習は、火曜・木曜・土曜・日曜日（土日は練習試合や試合など）で活動しています。
令和５年６月に第４３回全日本バレーボール大会、宮崎県大会で優勝し、８月に東京にて行われました全国大会に出場し、ベスト１６という結果を残すことができました。
また、Ｈｏｔｔｏ　Ｍｏｔｔｏ杯、第３２回UMK宮崎県小学生バレーボール大会でも優勝することができ、令和６年３月に宮城県で行われます第２１回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会への出場も予定しています。全国大会に行ったら、江南リズムでコンビバレーやサーブなど他のチームから見ても「すごい」と言われるように頑張りたいと思います。
これからも一致団結して勝利に向かって頑張ります。

令和5年度第43回九州ブロックスポーツ少年団サッカー交流大会 出場チーム

恒久FC（宮崎市）

■ 練習場所：田吉河川敷　■ 練習日：火･木･土曜日　■ 対象：未就学児、小学1～6年生
■ 練習時間：火･木→17:30～19:30（4月～10月）　17:30～19:00（11月～3月）
　　：土→14:00～17:00　（※土日は練習or試合）
■ 指導者：JFA公認ライセンス　C級、キッズインストラクター、3級審判を所持しています。
■ 連絡先：代表　中井　洋光　（携帯090-3329−2411）

■ 2023年度の成績：宮崎市ブロック大会（パート優勝）
　　：宮崎県中央大会（Bブロック）優勝
　　：九州ブロック大会1位パート準優勝

中央大会の様子

中央大会BブロックPK戦の末、見事優勝

九州ブロック大会の様子

九州ブロック大会は、惜しくも1パート準優勝でした。

令和5年度第43回九州ブロックスポーツ少年団剣道交流大会 出場チーム

西米良村立西米良中学校剣道部（西米良村）

■ 部員数：男子11名　女子3名　計14名　（3年生引退後 男子8名･女子1名 計9名）
■ 顧問　　友重　和也、大塚　祐輔、新谷　昌子
■ 監督　　坂本　靖弘
■ 外部指導　　坂本　大地、濵砂　幸太郎、兒玉　大凱

■ 令和5年度大会実績
・第43回九州ブロックスポーツ少年団剣道交流大会　　第3位
・第46回宮崎県中学校秋季体育大会　　第3位

■ 顧問、監督の言葉
　九州ブロックスポーツ少年団剣道交流大会では、3 年生は最後の大会だったが、最後まで諦めず、粘り強く戦ってくれた。1・2 年生には「試合に勝つためには、協力していただいた方への感謝と日頃の生活態度が必要でそれが足りていない」と指導があり、3 年生の想いを引き継いで全国出場の目標を達成できるよう練習に励んでほしい。

スポーツを核とした豊かな地域コミュニティを創造するために

総合型地域スポーツクラブの育成

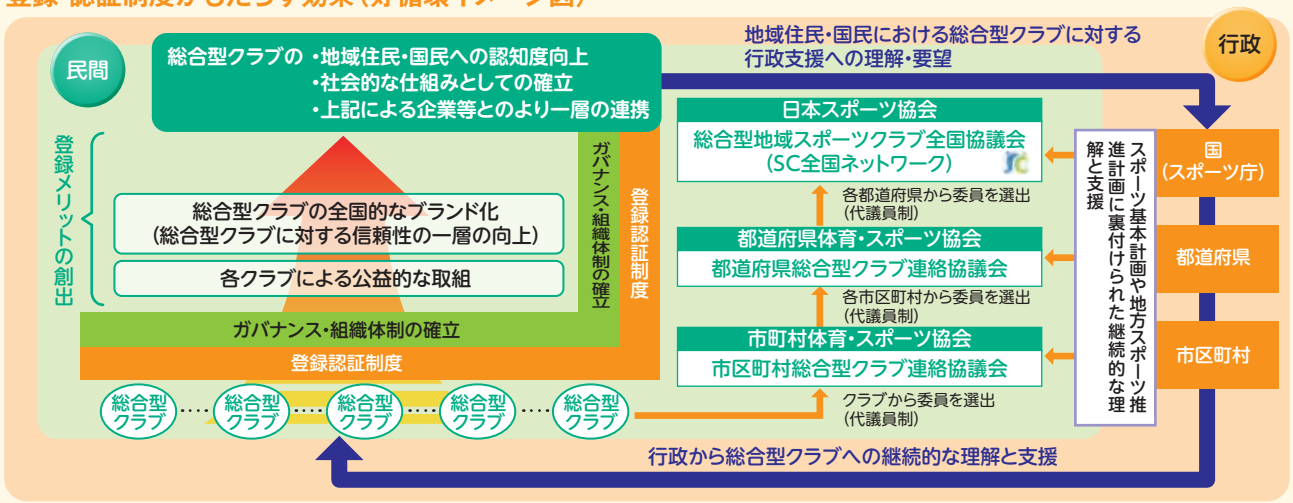
▶登録・認証制度のメリット

登録・認証制度は、総合型クラブが、より公益性の高い「社会的な仕組み」として、永久的に充実した活動を行えるよう、第２期スポーツ基本計画（平成２９年３月２４日文部科学大臣策定）に基づき、日本スポーツ協会と都道府県体育・スポーツ協会が関係団体と連携し、整備しました。

この制度は、総合型クラブが地方自治体等とパートナーシップを構築し、公益的な事業体としての役割を果たしていくために、活動実態や運営実態、ガバナンス等についての要件を基準としています。

どんな効果があるの？

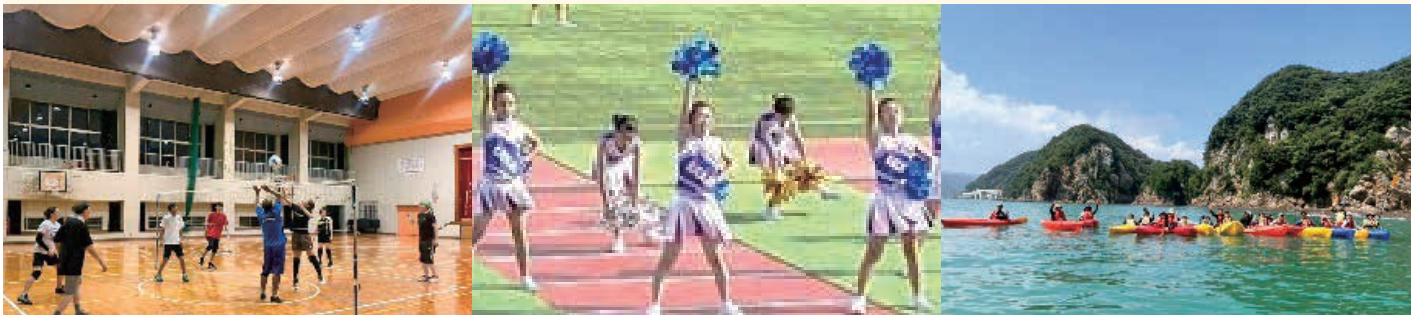
登録・認証制度がもたらす効果（好循環イメージ図）



県独自（本協会）のメリットとして、令和５年度より登録クラブに対して、総合型クラブの後継者育成を目的とした資格取得に向けた支援を行っております。具体的には、アシスタントマネジャーおよびクラブマネジャーの資格取得に向けた補助として、１クラブ一律２万５千円を補助しております。本年度は、６クラブを対象に補助を行いました。

【宮崎県総合型登録クラブ】

NPO法人東大宮スポーツクラブ	みやざき中央スポーツクラブ	NPO法人佐土原スポーツクラブ	住吉スポーツクラブ
NPO法人MIYAZAKIうづらaiクラブ	半九レインボーSC	木の花スポーツクラブ	一般社団法人日南市スポーツクラブ
一般社団法人串間スポーツクラブ	西都スポーツクラブ	特定非営利活動法人高鍋スポーツクラブ	メラスポチャレンジクラブ
木城ドリームス	川南スポーツ合衆国	NPO法人都農enjoyスポーツクラブ	NPO法人都城ぽんちスポーツクラブ
一般社団法人とみさか	小林元気クラブ	NPO法人真幸ホットほっとクラブ	NPO法人いいの夢クラブ
NPO法人いい汗加久藤クラブ	ひのかげきらめきクラブ		



（写真提供：各スポーツクラブ）

宮崎県の総合型地域スポーツクラブの紹介

一般社団法人とみさか

スポーツが地域住民の生活/暮らしの習慣化を目指し、総合型地域スポーツクラブを運営

一般社団法人とみさかは、「次世代のために、つながりが生む“心の豊かさ”を大切にする社会づくりに貢献する」を理念に、地域スポーツの推進に貢献するために総合型地域スポーツクラブを運営しています。

競技スポーツの①サッカーを柱に、②初心者向けヨガと③高齢者向けストレッチポールの生涯スポーツ教室を実施しています。また、④都城市スポーツ習慣化モデル事業は、1130県民運動（1週間に1回以上、30分以上の運動・スポーツ）を推進するため、行政や総合型地域スポーツクラブ、スポーツ推進員連絡協議会等が連携し、健康増進や地域活性化、防災など地域住民にとって魅力ある事業を展開しています。その他、地域の子どもたちと⑤野外体験活動や⑥プロスポーツ観戦を開催しています。

【お問合せ】
一般社団法人とみさか
宮崎県都城市南横市町3813-5
info@tomisaka.org

①サッカー競技

毎週月～金　17:00～19:00

②初心者向けヨガ

毎週火曜日　13:00～14:30

③高齢者向けポール

毎週火曜日　19:30～20:30

④都城市スポーツ習慣化

⑤野外体験活動

⑥プロスポーツ観戦

NPO法人都農enjoyスポーツクラブ

「すべては笑顔と未来のために」の理念のもと児湯郡都農町を拠点に活動。

定期活動の紹介

<ジュニア向け教室>
わくわくスポーツ教室（2ヵ所）、わいわいキッズ運動教室、キッズサッカー教室、小学生フットサル教室、陸友会（陸上少年団）、都農ボンバーズ（中3硬式野球）
<一般向け教室>
筋トレ部、ルーシーダットン（タイ式ヨガ）、ヨガ教室、ゆったりストレッチ、貯筋運動クラス、ノルディックウォーキング、うたごえ広場
<サークル>
グラウンドゴルフ、弥勒連（よさこい）

未就学児から高齢者まで幅広い世代の方が約３００名の方が会員として運動やスポーツ、文化活動を楽しんでいます。

特に人気がある教室は小学生の「わくわくスポーツ教室」で様々なスポーツに月替わりでチャレンジします。体育の授業内容スケジュールにも連動してプログラムを組んでおり、①体育嫌いや運動嫌いの子を減らし、楽しみながら「出来た！」の経験を増やすこと。②運動やスポーツは楽しい！と幼少期から思える体験の場を積み重ねること、を目標に活動。大人になってからの運動参加率や健康寿命にもつながっていくととらえ、同じコンセプトの教室を未就学児対象の教室へも展開しています。

また夏休み恒例のサマースクールも人気で今年度は総勢１００名近い子どもたちが川遊びや工作などを楽しみました。

町から委託をいただいての介護予防運動サポーターの養成やフォローアップ、またそのサポーターが町内各地の２０カ所以上の公民館に出向き運動教室を開催する「１００まで運動教室」の事務局も担っています。

また総合運動公園（藤見公園）の指定管理も受託。～ココロとカラダに心地よい～が集まる青空マルシェ「ふじみ市」や各種スポーツ大会なども企画・開催しています。

世界へはばたけ!

宮崎ワールドアスリート発掘・育成プロジェクト

目 的

県内から体力・運動能力に優れた子どもたちを発掘し、２０２７年宮崎国民スポーツ大会・オリンピックなどの国際舞台で活躍できる人材や、県や日本のスポーツリーダーとなる人材を育てます。

経緯・内容

平成２８年度から活動を始め、今年で８年目を迎えます。育成プログラムは月２回実施し、小学校５年生から中学校３年生までの５年間が育成期間で、中学校３年生で自分に最も適した競技種目を選んで高校につなぎます。これまでに１２６名の修了生を送り出しています。

令和5年度在籍数

カテゴリー	キッズ		ジュニア		シニア
学　年	小学５年生	小学６年生	中学１年生	中学２年生	中学３年生
学年人数	29	28	25	26	26
カテゴリー人数	57		51		25
総　計	134				

育成プログラムの内容

(1) 能力開発プログラム　オリンピアンやプロスポーツ選手を指導する講師から指導を受けます。

① 身体的能力開発

コオーディネーション

SAQトレーニング

コンディショニング

セルフケア

② 知的能力開発

アスリート食

コミュニケーション

メンタル

女性アスリート

オープンマインド

デュアルキャリア教育

スポーツインテグリティ

目標設定

ロジカルシンキング

(2) 競技種目体験プログラム

様々な競技を体験し、自分の可能性を高め、自分に合った競技をみつけます。

スポーツクライミング

ウエイトリフティング

フェンシング

ボクシング

ボクシング

ハンドボール

ラグビー

陸上競技

ホッケー

セーリング

自転車

ソフトボール

カヌー

ローイング

タグラグビー

(3) パスウェイプログラム

中3のプログラム。高校から実施する競技種目を選択し、将来の計画を発表します。

(4) 自宅課題カリキュラム

県スポーツ協会認定トレーナーから普段のトレーニングや体づくりの指導を受けます。

（写真提供：県スポーツ協会）

(5) ファミリープログラム　保護者対象。アスリート生の親としてのメンタルや食事などについて学びます。

メンタル

アスリート食

調理実習

修了生の成績　(令和5年度の全国的な実績を抜粋しています)

大会名	競技種目	成績	大会名	競技種目	成績
北海道インターハイ	カヌー女子カヤックフォア	1位	鹿児島国体	カヌー少年女子500mカヤックフォア	1位
	カヌー女子カヤックペア	2位		カヌー少年女子200mカヤックフォア	2位
	カヌー女子カヤックシングル	3位		カヌー少年女子500mカヤックシングル	3位
	カヌー女子団体	3位		カヌー少年男子500mカナディアンシングル	3位
	カヌー男子カナディアンシングル	7位		カヌー少年女子200mカヤックシングル	4位
	水泳男子50m自由形	1位		カヌー少年男子200mカナディアンシングル	7位
	水泳男子400mメドレーリレー	2位		陸上競技男子A棒高跳び	3位
	レスリング女子50kg級	3位		自転車女子ケイリン	4位
	ハンドボール女子	8位		ゴルフ成年男子	4位
				フェンシング成年女子エペ	8位

● その他の大会

○ 自転車競技　2023JOCジュニアオリンピックカップU-17女子スプリント1位

● 代表等

○ カヌー競技　2023ICFカヌーマラソン世界選手権女子U-23日本代表
○ カヌー競技　2023アジアパシフィックスプリントカップ女子カヤックU-18日本代表
○ カヌー競技　2023オリンピックホープスレガッタ女子カヤックU-17日本代表
○ ハンドボール競技　第31回日・韓・中ジュニア交流競技会和歌山大会U-18日本代表

現アスリート生の成績　(令和5年度の全国的な実績を抜粋しています)

○ 全国中学校体育大会

＊ 陸上競技男子110mハードル1位(日本中学新記録)
＊ 水泳競技男子200m・400m個人メドレー2位
＊ バスケットボール競技女子2位
＊ ラグビーフットボール競技男子6位

○ JOCジュニアオリンピックカップ

＊ 陸上競技U-16男子110mハードル1位(大会新記録)

○ 鹿児島国体

＊ 陸上競技少年男子B110mハードル3位
＊ 水泳競技男子200m個人メドレー6位

宮崎WAP修了生・現役生ともにすばらしい活躍！着実に成果が表れています。

<事務局の所在地>　〒889-2151　宮崎市大字熊野島山1443-12
(公財)宮崎県スポーツ協会　WAP事務局
TEL 0985-58-5633　FAX 0985-58-5630

パリ・パラリンピックに向けてのこれまでの軌跡（ボッチャ競技）

宮崎県スポーツ医・科学委員長
宮崎大学病院　病院長
帖佐（ちょうさ） 悦男（えつお）

2013年からボッチャ競技に関わってきましたので、ボッチャについて説明します。ボッチャはヨーロッパで始まり1984年にパラリンピックの正式競技として採用されました。基本的なルールは、白色のジャックボール（目標球）に向かって、それぞれ赤青の自分のボールを投げたり転がし、いかにジャックボールに近づけるかを競うスポーツです。そのため、「地上のカーリング」と呼ばれ、頭脳（戦略）、正確な技術や決断力が必要です。特徴の一つに、クラス分けがあります。男女や年齢の区別はなく脳性麻痺や四肢の障がいの程度でクラス分けをして順位を競います。

ボッチャが日本で認知度があがったのは、2016年8月に開催されたリオデジャネイロパラリンピックにおいて「火ノ玉JAPAN」の愛称で躍進し続けた日本チームは団体で銀メダルを獲得し、その後も世界大会で活躍するようになったことから、ボッチャは日本でも認知度が上がっていきました。私は2013年からチームに関わり、世界選手権出場のための診断書の作成や健康相談等を行っております。障がいがあるため使用薬物への注意を促しています。コロナ禍では、特に免疫力が低下した選手が多くかなり心配しました。主な帯同として日本選手権西日本ブロック予選会などがあり、TOKYO2020では無観客での大会でしたので、選手の活躍している姿（杉村英孝選手が個人で日本勢史上初メダルとなる金メダル、混合ペアBC3で、河本圭亮選手、高橋和樹選手、田中恵子選手が銀メダル、混合チームBC1－2で銅を獲得）を観客や家族等に見せてあげることができず可哀想でした。

また本県にとって残念なことは、昨年オランダで開催された世界大会で優勝し本県初の強化選手となった竹之内和美選手が53歳の若さで急逝されたことです。あらためまして哀悼の意を表します。竹之内選手の死を無駄にせず次に続いてほしいものです。

最後になりますが、来年のパリ・パラリンピックでボッチャをはじめ多くの種目で日本選手が活躍することを祈念して筆をおきます。

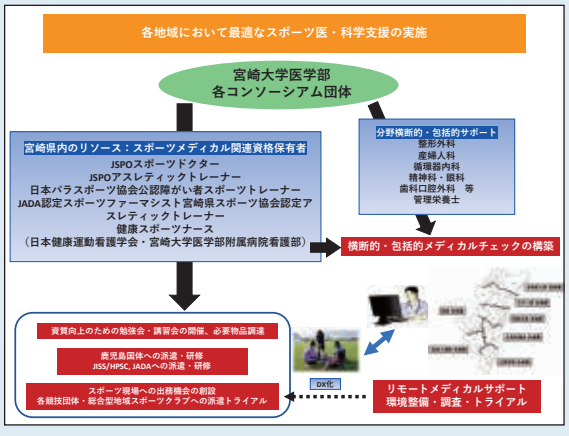
2027宮崎国スポ障スポに向けた メディカルサポート体制の構築 ―スポーツ庁委託事業―

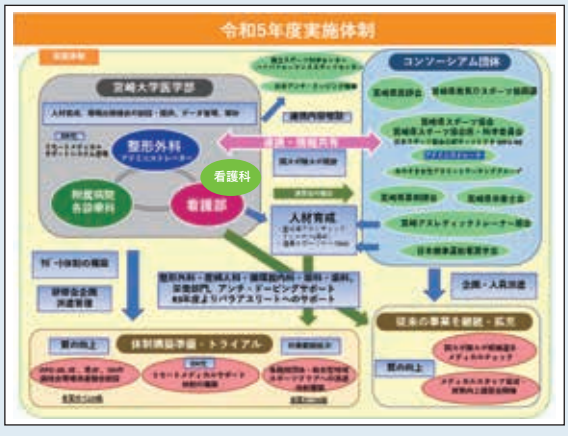
宮崎県スポーツ協会医・科学委員
宮崎大学医学部感覚運動医学講座整形外科学分野
医師　田島 卓也

宮崎県では宮崎大学医学部と宮崎県スポーツ協会医・科学委員会が連携し、子どもから高齢者に対するスポーツ振興、健康増進および健康寿命の延伸を目指し、シームレスな医・科学サポートを図るべく事業を展開している。

また、2027国スポ障スポの宮崎県開催を控え、上記の内容を発展させるために「各種メディカルスタッフの養成と競技会現場派遣システム構築による活動機会の提供」、「国スポ障スポ候補選手に対する包括的なメディカルチェック体制構築および内容の拡充」、「各競技団体、総合型地域スポーツクラブおよび学校運動部活動チームへのメディカルスタッフサポート体制の構築」及び「現場でのテレメディシンの活用によるリモートメディカルサポート体制構築」を柱とした県内横断的なメディカルサポートシステムの構築・ブラッシュアップを図る事業を検討している。今回、スポーツ庁より令和5−7年度の3か年の委託事業「地域におけるスポーツ医・科学サポート体制構築」の公募があったことを機に、宮崎大学医学部は宮崎県スポーツ協会をはじめとする各コンソーシアム団体と連携を図り、本委託事業に公募したところ、幸運にも全国5団体の1つとして採択された。

宮崎県にはスポーツメディカルに関与する有資格者としてJSPO認定スポーツドクター、スポーツデンティスト、アスレティックトレーナー(AT)、JPSA公認パラスポーツ医およびJADA公認スポーツファーマシストがいるが、他地域に先駆けて宮崎県独自の「県スポーツ協会認定AT」、「宮崎大学医学部附属病院認定健康スポーツナース(Ns)」、さらには「日本健康運動看護学会公認スポーツNs」等の資格養成を実施してきた。また、今後新たに「宮崎県栄養士会認定スポーツ栄養士」の育成も始まっている。これらのスポーツメディカル資格保有者の知見と技術を結集し、国スポ障スポ選手のみならず、地域の部活動選手やスポーツ愛好家、総合型地域スポーツクラブさらには女性アスリートやパラアスリートに対する医・科学サポートを展開し、地方におけるスポーツ医・科学支援の提供体制のモデル構築を目指す。





公益財団法人宮崎県スポーツ協会表彰

公益財団法人宮崎県スポーツ協会スポーツ功労賞・優秀賞・奨励賞・推進賞（令和４年度）の表彰はみやざき県民総合スポーツ祭合開会式で行いました。

宮崎県スポーツ協会表彰とは、多年にわたり本県体育・スポーツの普及・振興に寄与され、その功績の顕著な方をスポーツ功労者として、また、国内外のトップレベルの大会で優秀な成績を収めた方をスポーツ優秀者として、そして、国内外のトップレベルに準ずる優秀な成績をあげた方にスポーツ奨励者として、県民に感動を与え又は、本県の発展に貢献された方をスポーツ推進者として表彰するものです。受賞者は以下のとおりです。

スポーツ功労賞〈個人〉

今西　耕二

ソフトテニスのクラブや中学校部活動を永年にわたり熱心に指導されている。また、大会の運営や、技術等級に関する業務にも精力的に取り組んでいる。

永徳　満弘

永年にわたり山田町グラウンド・ゴルフ協会会員をまとめ、地区の大会の企画・運営に積極的に取り組み、親睦融和と健康づくりに貢献している。

前村　清太

高鍋町グラウンド・ゴルフ協会会長や県グラウンド・ゴルフ協会理事として永年にわたり競技の普及振興と健全な協会運営に大きく貢献された。

松久　寅雄

宮崎陸上競技協会において評議員を永年努められ、競技役員としても活躍されてきた。また、宮崎市陸上競技協会の運営にも尽力された。

冨山　喜正

ホッケー競技の審判員として国内外で活躍され、ホッケー競技の普及発展に大きく貢献された。現在も高校の指導者として活躍されている。

松本　英子

永年にわたり宮崎県空手道連盟事業に対し、献身的に貢献している。県内の空手道普及・振興を図り、競技力向上と優秀な指導者を多数育成している。

塩月　光夫

県体育協会に３０年間従事され、本県のスポーツ振興に尽力された。また、県ライフル射撃協会会長として競技力の向上と普及に尽力されている。

福田　正郎

都城市山田地区体育協会副会長をはじめ、地区内のスポーツ関係団体の要職を永年にわたり務められ、山田地区内のスポーツの振興に大きく貢献された。

中村　康雄

永年にわたり、宮崎県バレーボール協会・都城地区バレーボール協会に在籍され数々の要職を歴任され協会運営及び発展に多大な貢献をされた。

宇都宮　茂樹

永年にわたり、学校での教科体育及び部活動指導にリーダーシップを発揮した。

スポーツ功労賞〈団体〉

◆ 佐土原町グラウンド･ゴルフ協会

関係機関との協力・連携を大事にしてグラウンド・ゴルフの普及振興と会員の心身の向上、親睦に積極的に取り組んでいる。また、研修会、交歓大会等を積極的に開催し、仲間づくりに努めている。
地域が主催する各種行事にも参加し、リーダー的な団体である。

公益財団法人宮崎県スポーツ協会表彰

スポーツ優秀賞〈個人〉

宮越　由依

金沢学院大学（ウエイトリフティング競技）

文部科学大臣杯第68回全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会（女子）
女子64kg級　第2位

年見　穂風

鹿屋体育大学（自転車競技）

文部科学大臣杯第77回全日本大学対抗選手権自転車競技大会
女子チームスプリント　優勝
女子500Mタイムトライアル　第3位

岩元　杏奈

宮崎県スポーツ協会（自転車競技）

第37回　全日本学生選手権個人ロードレース大会　優勝
第62回　全日本学生選手権トラック自転車競技大会 女子ポイントレース 優勝
女子3kmインディヴィデュアル・パシュート 優勝
文部科学大臣杯第77回全日本大学対抗選手権自転車競技大会女子20kmマディソン 優勝

池田　向希

旭化成株式会社（陸上競技）

第18回世界陸上競技選手権大会
男子20km競歩　第2位

川野　将虎

旭化成株式会社（陸上競技）

第18回世界陸上競技選手権大会
男子35km競歩　第3位

相澤　晃

旭化成株式会社（陸上競技）

第106回日本陸上競技選手権大会
男子10000m　第1位

池下　航和

環太平洋大学（陸上競技）

U20世界選手権大会（陸上競技）
男子4×100mリレー　第1位（第1走）

森山　静穂

福岡大学（陸上競技）

第91回日本学生陸上競技対校選手権大会　女子400m　第1位
女子4×400リレー　第1位（第2走者）

樋渡　千歩

武蔵川女子大学（卒）（カヌー競技）

Asia Pacific Canoe Sprint Cup LAKE KIBA 2022
女子カヤックペア500m　第2位
mixフォア500m　第3位

津田　博翔

宮崎県カヌー協会（カヌー競技）

第58回全日本学生カヌースプリント選手権大会
男子カナディアンペア1000m 第1位
男子カナディアンフォア1000m 第1位
全日本カヌーマラソン選手権大会兼2022海外派遣選考会兼令和4年度全日本学生長距離選手権大会　男子カナディアン15000m 第1位

原田　雅功

鹿屋体育大学（カヌー競技）

第58回全日本学生カヌースプリント選手権大会　男子カナディアンペア200m 第1位
男子カナディアンフォア（500m×4relay）　第1位
男子カナディアンペア1000m　第2位

島津　早耶子

丸栄ニューウェーブ株式会社（カヌー競技）

令和4年度SUBARU日本カヌースプリント選手権大会
女子カナディアンシングルス500m 第2位
女子カナディアンシングルス200m 第3位

内之倉　薫人
日本体育大学（カヌー競技）

令和4年度全日本カヌーマラソン選手権大会兼2022海外派遣選考会兼令和4年度全日本学生長距離選手権大会　男子U23大学生の部
カナディアン15000m　第1位

脇田　夢叶
日本体育大学（ボクシング競技）

2022全日本ボクシング選手権大会
男子ウェルター級　優勝

井手　大
UNAID宮崎（バドミントン競技）

第39回全日本シニアバドミントン選手権大会
男子35歳以上ダブルス　第3位

本部　崇仁
UNAID宮崎（バドミントン競技）

第39回全日本シニアバドミントン選手権大会
男子35歳以上ダブルス　第3位

荒川　元四郎
小戸イーグル（バドミントン競技）

第39回全日本シニアバドミントン選手権大会
男子80歳以上ミックスダブルス　第1位

廣田　彰
宮崎大学教職員クラブ（バドミントン競技）

第39回全日本シニアバドミントン選手権大会
男子75歳以上シングルス　第2位

スポーツ奨励賞〈個人〉

黒木　雄太朗
東海アスリートクラブ（陸上競技）

第77回九州陸上競技選手権大会
男子三段跳　第1位

松田　荘汰
環太平洋大学（陸上競技）

第76回九州陸上競技選手権大会
男子十種競技　優勝

令和5年度公益財団法人宮崎県スポーツ協会「スポーツ優秀賞」受賞者

スポーツ優秀賞:団体 6団体67名

NO	競技名	所属	選手名・学年			スポーツ競技大会実績			
			氏名	フリガナ	学年	大会名	成績	主催団体	大会期間
1	弓道	都城市立西中学校	原田　莱希	ハラダ　ライキ	3	第20回 全国中学生弓道大会	第3位	公益財団法人 全日本弓道 連盟	令和5年8月19日(土) ～令和5年8月20日(日)
			鴇　礼雅	トキ　ライガ	3				
			丸山　紘昌	マルヤマ　コウスケ	3				
			小山田　誠生	オヤマダ　セイマ	3				
2	サッカー	日章学園中学校	山口　晃誠	ヤマグチ　コウセイ	3	第54回全国中学校 サッカー大会	第2位	公益財団法人 日本中学校 体育連盟	令和5年8月19日(土) ～令和5年8月24日(木)
			高木　　天	タカギ　ソラ	3				
			前田　千颯	マエダ　チハヤ	3				
			田原　蓮音	タハラ　レオン	3				
			岩元　礼王	イワモト　レオ	3				
			大平　陽稀	オオヒラ　ハルキ	3				
			鳥原　　惺	トリハラ　セイ	3				
			冨田　加賀	トミタ　カガ	3				
			友寄　太雅	トモヨセ　タイガ	3				
			吉﨑　太珠	ヨシザキ　ダイジュ	3				
			松下　幸聖	マツシタ　コウセイ	3				
			乾　　裕駕	イヌイ　ユウガ	3				
			山本　航大	ヤマモト　コウダイ	3				
			玉城　健登	タマシロ　ケント	3				
			井藤　仁之介	イトウ　ジンノスケ	3				
			高野　暁次郎	タカノ　オウジロウ	2				
			秋鷹　青杜	アキタカ　アオト	2				
			丸橋　宗一朗	マルハシ ソウイチロウ	3				
3	バスケット ボール	三股町立三股中学校	小玉　愛莉	コダマ　アイリ	3	令和5年度 全国中学校体育大会 第53回全国中学校 バスケットボール大会	第2位	公益財団法人 日本中学校 体育連盟	令和5年8月21日(月) ～令和5年8月24日(木)
			蔵満　莉緒	クラミツ　リオ	3				
			浅利　　蕾	アサリ　ツボミ	3				
			中嶋　璃子	ナカシマ　リコ	3				
			有田　理沙子	アリタ　リサコ	3				
			及川　莉奈	オイカワ　リナ	3				
			原　ゆり子	ハラ　ユリコ	3				
			和田　すず乃	ワダ　スズノ	3				
			小田　陽夏子	オダ　ヒナコ	2				
			徳重　小晴	トクシゲ　コハル	2				
			押領司　呼愛	オウリョウジ　コア	2				
			山田　千晴	ヤマダ　チハル	2				
			平野　那実	ヒラノ　ナミ	2				
			山元　楓愛	ヤマモト　カエラ	2				
			田中　希依	タナカ　キイ	2				
			廣前　ここ	ヒロマエ　ココ	2				
4	柔道	生目道場(宮崎市立赤江小学校)	佐藤　大峨	サトウ　タイガ	6	第43回 全国少年柔道大会	第3位	公益財団法人 全日本柔道 連盟	令和5年5月5日(金)
		生目道場(宮崎市立小松台小学校)	松浦　菜々心	マツウラ　ナナミ	6				
		生目道場(都城市立東小学校)	山之内　清将	ヤマノウチ キヨマサ	6	2023年度マルちゃん杯 全日本少年柔道大会	第3位		令和5年9月17日(日)
		生目道場(宮崎市立加納小学校)	菊地　結心	キクチ　ユウシン	5				
		生目道場(都城市立東小学校)	山之内　晴信	ヤマノウチ ハルノブ	4				
5	ソフト ボール	みずほ子供会 ソフトボール部 (宮崎市立住吉南小学校)	鶴輪　心平	ツルワ　シンペイ	6	第37回全日本 小学生男子 ソフトボール大会	第3位	公益財団法人 日本 ソフトボール 協会	令和5年7月29日(土) ～令和5年8月1日(水)
			高村　昂臣	タカムラ　コウシン	6				
			田畑　大希	タバタ　ダイキ	6				
			清水　朝陽	シミズ　アサヒ	5				
			井崎　漣	イザキ　レン	5				
			押川　凌大	オシカワ　リョウタ	6				
			黒木　心絆	クロギ　シンバ	5				
			柳田　充輝	ヤナギダ　アツキ	6				
			中原　道	ナカハラ　ミチ	5				
			粟谷　煌乎	アワタニ　コウヤ	6				
			秋鷹　結菜	アキタカ　ユイナ	6				
			大平　琉歌	オオヒラ　ルカ	5				
			矢野　知基	ヤノ　トモキ	5				
			木場　楓雅	コバ　フウガ	5				
			柳田　泰輝	ヤナギダ　タイキ	4				
			粟谷　琉飛	アワタニ　リョウヒ	4				
			脇田　凌吾	ワキタ　リョウゴ	4				
			永峯　友恵	ナガミネ　トモエ	3				
			永峯　秀幸	ナガミネ　ヒデユキ	2				
6	ゴルフ	日章学園高等学校	丸尾　怜央	マルオ　レオ	3	2023年度全国高等学校 ゴルフ選手権大会 文部科学大臣旗争奪 第44回男子団体の部	第2位	一般社団法人 日本高等学校・ 中学校ゴルフ 連盟	令和5年8月5日(土) ・令和5年8月6日(日)
			長崎　煌心	ナガサキ　コウシン	1				
			秋高　大旺	アキタカ　ヒロオ	2				
			本吉　翔	モトヨシ　ショウ	3				
			上山　虎雅	ウエヤマ　タイガ	3				

令和5年度公益財団法人宮崎県スポーツ協会「スポーツ優秀賞」受賞者

スポーツ優秀賞:個人 26名

NO	競技名	所属	選手名・学年			スポーツ競技大会実績			
			氏名	フリガナ	学年	大会名	成績	主催団体	大会期間
1	陸上	宮崎県立都城商業高等学校	藤田　花	フジタ　ハナ	3	第39回U20日本陸上競技 選手権大会女子やり投	第3位	公益財団法人 日本陸上競技協会	令和5年6月1日(木) ～令和5年6月4日(日)
2	陸上	宮崎市立住吉中学校	藤井　雄大	フジイ　ユウダイ	3	第50回全日本中学校陸上競技 選手権大会共通男子3000m	第2位	日本中学校 体育連盟	令和5年8月22日(火) ～令和5年8月25日(金)
3	陸上	宮崎市立檍中学校	赤星　未來	アカホシ　ミク	3	第50回全日本中学校陸上競技 選手権大会共通女子200m	第2位	日本中学校 体育連盟	令和5年8月22日(火) ～令和5年8月25日(金)
4	陸上	西池ジュニア (宮崎市西池小学校)	吉田 玲心	ヨシダ　レミ	6	日清食品カップ第39回全国小学生 陸上競技交流大会小学生女子100m	第3位	公益財団法人 日本陸上競技協会	令和5年9月17日(日)
5	水泳	日南市立吾田中学校	沼田　頼人	ヌマタ　ライト	3	第63回全国中学校 水泳競技大会 男子200m個人メドレー 男子400m個人メドレー	第2位 第2位	日本中学校 体育連盟	令和5年8月17日(木) ～令和5年8月19日(土)
6	ソフトテニス	清武ジュニア ソフトテニスクラブ (宮崎市立赤江小学校)	松浦 大志	マツウラ　タイシ	6	令和5年度第22回全国小学生 ソフトテニス大会男子の部	第2位	公益財団法人 日本ソフトテニス連盟	令和5年3月29日(水) ～令和5年3月31日(金)
						令和5年度第40回全日本小学生 ソフトテニス選手権大会男子の部	第3位	公益財団法人 日本ソフトテニス連盟	令和5年8月3日(木) ～令和5年8月6日(日)
7	ソフトテニス	都城アトム ジュニアクラブ (都城市立大王小学校)	髙橋 七瀬	タカハシ　ナナセ	6	令和4年度第22回全国小学生 ソフトテニス大会男子の部	第2位	公益財団法人 日本ソフトテニス連盟	令和5年3月29日(水) ～令和5年3月31日(金)
						令和5年度第40回全日本小学生 ソフトテニス選手権大会男子の部	第3位	公益財団法人 日本ソフトテニス連盟	令和5年8月3日(木) ～令和5年8月6日(日)
8	柔道	宮崎市立本郷中学校	鎌田　道太朗	カマタ　ミチタロウ	3	九州中学校柔道競技大会 男子個人-90kg級 全国中学校柔道大会 男子個人-90kg級	第1位 第3位	九州中学校 体育連盟 日本中学校 体育連盟	令和5年8月8日(火) ～令和5年8月10日(木) 令和5年8月17日(木) ～令和5年8月20日(日)
9	柔道	宮崎日本大学中学校	渡辺　大翔	ワタナベ　ヒロト	2	第54回全国中学校 柔道大会男子50kg級	第2位	日本中学校体育連盟 全日本柔道連盟	令和5年8月17日(木) ～令和5年8月20日(日)
10	相撲	延岡相撲道場 (延岡市立伊形小学校)	轟木　結愛花	トドロキ　ユメカ	6	第26回全日本小学生女子相撲大会 小学6年生の部60Kg以上級	第1位	公益財団法人 日本相撲連盟	令和5年10月1日
11	相撲	高千穂相撲クラブ (高千穂町立高千穂小学校)	堀　瑠琉華	ホリ　ルルカ	4	第9回全日本女子相撲ひめじ大会 小学4年生の部35Kg以上級 第14回全日本女子相撲岐阜大会 小学4年生の部35Kg以上級	第1位 第1位	公益財団法人 日本相撲連盟 公益財団法人 日本相撲連盟	令和5年7月16日 令和5年6月18日
12	相撲	高千穂相撲クラブ (高千穂町立高千穂小学校)	堀　姫萌華	ホリ　ヒメカ	6	第9回全日本女子相撲ひめじ大会 小学6年生の部60Kg以上級 第14回全日本女子相撲岐阜大会 小学6年生の部60Kg以上級	第1位 第2位	公益財団法人 日本相撲連盟 公益財団法人 日本相撲連盟	令和5年7月16日 令和5年6月18日
13	体操	トランポリンみやざき (宮崎市立大宮中学校)	後藤　蒼之郎	ゴトウ　ソウシロウ	1	第10回全日本トランポリン競技 年齢別選手権大会	第3位	公益財団法人 日本体操協会	令和5年5月12日 ～令和5年5月14日
						第9回全日本トランポリン競技 ジュニア選手権大会	第2位	公益財団法人 日本体操協会	令和5年7月27日 ～令和5年7月30日
14	バドミントン	UNAID宮崎 (宮崎市立宮崎南小学校)	串間　太政	クシマ　タイセイ	6	令和5年度全国小学生ABC バドミントン選手権大会	第1位	公益財団法人 日本バドミントン協会	令和5年8月11日 ～令和5年8月13日
15	自転車	宮崎県立宮崎農業高等学校	鍋島　実愛	ナベシマ　ミア	1	2023年JOCジュニアオリンピック カップ自転車競技大会	第1位	公益財団法人 日本自転車競技連盟	令和5年7月15日(土) ～令和5年7月17日(月)
16	レスリング	宮崎県立宮崎工業高等学校	岩澤　泰紀	イワサワ　タイキ	3	令和5年度JOCジュニア オリンピックU-17	第2位	公益財団法人 日本レスリング協会	令和5年4月15日(土) ～令和5年4月16日(日)
17	レスリング	宮崎県立宮崎工業高等学校	橋本 凌悟	ハシモト　リョウゴ	2	令和5年度JOCジュニア オリンピックU-17	第3位	公益財団法人 日本レスリング協会	令和5年4月15日(土) ～令和5年4月16日(日)
18	空手道	緑勝会(串間市立福島小学校)	南　快	ミナミ　カイ	3	令和5年度全日本少年少女 空手道選手権大会3年男子組手	第2位	公益財団法人 全日本空手道連盟	令和5年8月7日(月) ～令和5年8月9日(水)
19	カヌー	ひなたカヌースプリント (宮崎市立加納中学校)	浮田　さえ	ウキタ　サエ	3	令和5年度全国中学校カヌー スプリント選手権大会女子 カナディアンシングル 500m	第1位	公益社団法人 日本カヌー連盟	令和5年7月14日(金) ～令和5年7月17日(月)
20	カヌー	ひなたカヌースプリント (宮崎市立潮見小学校)	籾木　吟巴	モミキ　オトハ	6	令和5年度全国少年少女 カヌー大会女子カヤックペア200m	第2位	公益社団法人 日本カヌー連盟	令和5年7月15日(土) ～令和5年7月17日(月)
21	カヌー	ひなたカヌースプリント (日向市立富高小学校)	宇田津 芽依	ウダツ　メイ	6	令和5年度全国少年少女 カヌー大会女子カヤックペア200m	第2位	公益社団法人 日本カヌー連盟	令和5年7月15日(土) ～令和5年7月17日(月)
22	カヌー	宮崎県立宮崎大宮高等学校	椎木 なずな	シイギ　ナズナ	2	2023カヌースプリントジュニア 海外派遣選手選考会 女子カナディアンペア500m	第3位	公益社団法人 日本カヌー連盟	令和5年3月20日(月) ～令和5年3月26日(日)
23	カヌー	宮崎県立宮崎工業高等学校	串間　葵	クシマ　アオイ	2	文部科学大臣杯2023年度 日本カヌースプリントジュニア選手権大会 女子カナディアンシングル500m	第3位	公益社団法人 日本カヌー連盟	令和5年8月19日(土) ～令和5年8月22日(火)
24	ゴルフ	日章学園中学校	岡村　昂汰	オカムラ　コウタ	3	2023年度全国中学校ゴルフ選手権大会 文部科学大臣杯争奪 第67回個人の部	第3位	一般社団法人 日本高等学校・中学校 ゴルフ連盟	令和5年8月8日(火) 1日目、9日(水)中止
25	武術太極拳	宮崎県立高鍋高等学校 (HIMUKAカンフークラブ)	佐佐木　一太	ササキ　イッタ	2	第31回JOCジュニアオリンピックカップ 武術太極拳大会　男子国際 第3套路南棍の部	第3位	公益社団法人 日本武術太極拳連盟	令和5年4月22日(土) ～4月23日(日)
26	武術太極拳	都農町立都農南小学校 (HIMUKAカンフークラブ)	庄司　叶翔	ショウジ　カナウ	4	第31回 JOCジュニアオリンピックカップ 武術太極拳大会 男子初級短器械の部	第3位	公益社団法人 日本武術太極拳連盟	令和5年4月22日(土) ～4月23日(日)

令和5年度公益財団法人宮崎県スポーツ協会「スポーツ優秀賞 指導者」受賞者

スポーツ優秀賞:指導者 33名

NO	競技名	所属	指導者名		スポーツ競技大会実績			
			氏名	フリガナ	大会名	成績	主催団体	大会期間
1	陸上	宮崎県立都城商業高等学校	日野　広士	ヒノ　ヒロシ	第39回U20日本陸上競技選手権大会女子やり投げ	第3位	公益財団法人日本陸上競技協会	令和5年6月1日(木)～令和5年6月4日(日)
2	陸上	宮崎市立住吉中学校	安在　倫孝	アンザイ　ミチタカ	第50回全日本中学校陸上競技選手権大会共通男子3000m	第2位	日本中学校体育連盟	令和5年8月22日(火)～令和5年8月25日(金)
3	陸上	宮崎市立檍中学校	日高　一慶	ヒダカ　カズヨシ	第50回全日本中学校陸上競技選手権大会共通女子200m	第2位	日本中学校体育連盟	令和5年8月22日(火)～令和5年8月25日(金)
4	陸上	西池ジュニア	井上　寿博	イノウエ　トシヒロ	日清食品カップ第39回全国小学生陸上競技交流大会小学生女子100m	第3位	公益財団法人日本陸上競技協会	令和5年9月17日(日)
5	ソフトテニス	清武ジュニアソフトテニスクラブ	松浦 誠一郎	マツウラ　セイイチロウ	令和4年度第22回全国小学生ソフトテニス大会男子の部	第2位	公益財団法人日本ソフトテニス連盟	令和5年3月29日(水)～令和5年3月31日(金)
					令和5年度第40回全日本小学生ソフトテニス選手権大会男子の部	第3位	公益財団法人日本ソフトテニス連盟	令和5年3月28日(火)～令和5年3月31日(金)
6	ソフトテニス	都城アトムジュニアクラブ	林 泉十郎	ハヤシ　センジュウロウ	令和4年度第22回全国小学生ソフトテニス大会男子の部	第2位	公益財団法人日本ソフトテニス連盟	令和5年3月29日(水)～令和5年3月31日(金)
					令和5年度第40回全日本小学生ソフトテニス選手権大会男子の部	第3位	公益財団法人日本ソフトテニス連盟	令和5年3月28日(火)～令和5年3月31日(金)
7	弓道	宮崎県弓道連盟(都城市立西中学校)	冨吉　政博	トミヨシ　マサヒロ	第20全国中学生弓道大会	第3位	公益財団法人全日本弓道連盟	令和5年8月19日(土)～令和5年8月20日(日)
8	サッカー	日章学園中学校	花房　亮太	ハナフサ　リョウタ	第54回全国中学校サッカー大会	第2位	日本中学校体育連盟	令和5年8月19日(土)～令和5年8月24日(木)
9	サッカー	日章学園中学校	里野　義紘	サトノ　ヨシヒロ	第54回全国中学校サッカー大会	第2位	日本中学校体育連盟	令和5年8月19日(土)～令和5年8月24日(木)
10	柔道	宮崎市立本郷中学校	鎌田　美華	カマタ　ミカ	九州中学校柔道競技大会男子個人-90kg級	第1位	九州中学校体育連盟	令和5年8月8日(火)～10日(木)
					全国中学校柔道大会男子個人-90kg級	第3位	日本中学校体育連盟	令和5年8月17日(木)～20日(日)
11	柔道	宮崎日本大学高等学校(宮崎日大クラブ)	白阪　憲介	シラサカ　ケンスケ	全国中学校柔道大会男子個人-50kg級	第2位	日本中学校体育連盟	令和5年8月17日(木)～令和5年8月20日(日)
12	柔道	宮崎日本大学高等学校(宮崎日大クラブ)	村越　壮真	ムラコシ　ソウマ				
13	柔道	宮崎日本大学高等学校(宮崎日大クラブ)	三澤　寿栄	ミサワ　ヒサエ				
14	柔道	宮崎県立みなみのかぜ支援学校(宮崎日大クラブ)	岩田　大	イワタ　ダイ				
15	柔道	生目道場	鳥居　敏文	トリイ　トシフミ	第43回全国少年柔道大会	第3位	公益財団法人全日本柔道連盟	令和5年5月5日(金)
					2023年度マルちゃん杯全日本少年柔道大会	第3位	公益財団法人全日本柔道連盟	令和5年9月17日(日)
16	自転車	宮崎県立宮崎農業高等学校	大庭　伸也	オオバ　シンヤ	2023年JOCジュニアオリンピックカップ自転車競技大会	第1位	公益財団法人日本自転車競技連盟	令和5年7月15日(土)～令和5年7月17日(月)
17	相撲	延岡相撲道場	岸本　武	キシモト　タケシ	第26回全日本小学生女子相撲大会小学6年生の部60Kg以上級	第1位	公益財団法人日本相撲連盟	令和5年10月1日(日)
18	相撲	高千穂相撲クラブ	堀　慎太郎	ホリ　シンタロウ	第14回全日本女子相撲岐阜大会小学4年生の部35Kg以上級	第1位	公益財団法人日本相撲連盟	令和5年7月16日(日)
					第9回全日本女子相撲ひめじ大会小学6年生の部60Kg以上級	第1位	公益財団法人日本相撲連盟	令和5年6月18日(日)

NO	競技名	所属	指導者名		スポーツ競技大会実績			
			氏名	フリガナ	大会名	成績	主催団体	大会期間
19	体操	トランポリンみやざき	後藤　祐基	ゴトウ　ユウキ	第10回全日本トランポリン競技 年齢別選手権大会	第3位	公益財団法人 日本体操協会	令和5年5月12日(金) ～令和5年5月14日(日)
					第9回全日本トランポリン競技 ジュニア選手権大会	第2位	公益財団法人 日本体操協会	令和5年7月27日(木) ～令和5年7月30日(日)
20	ソフトボール	みずほ子供会 ソフトボール部	清水　貴淑	シミズ　タカヨシ	第37回全日本小学生男子 ソフトボール大会	第3位	公益財団法人 日本ソフトボール 協会	令和5年7月29日(土) ～令和5年8月1日(火)
21	バドミントン	UNAID宮崎	川﨑　功貴	カワサキ　コウキ	令和5年度全国小学生 ABCバドミントン選手権大会	第1位	公益財団法人 日本バドミントン 協会	令和5年8月11日(金) ～令和5年8月13日(日)
22	レスリング	宮崎県立宮崎工業高等学校	柴田　慎吾	シバタ　シンゴ	令和5年度JOCジュニア オリンピックU-17	第2位	公益財団法人 日本レスリング 協会	令和5年4月15日(土) ～令和5年4月16日(日)
					令和5年度JOCジュニア オリンピックU-20	第3位	公益財団法人 日本レスリング 協会	令和5年4月15日(土) ～令和5年4月16日(日)
23	空手道	緑勝会	平田　慎也	ヒラタ　シンヤ	令和5年度全日本少年少女 空手道選手権大会 3年男子組手	第2位	公益財団法人 全日本空手道 連盟	令和5年8月7日(月) ～令和5年8月9日(水)
24	ゴルフ	日章学園高等学校	菊池 美幸	キクチ　ミユキ	2023年度全国高等学校 ゴルフ選手権大会 文部科学大臣旗争奪 第44回男子団体の部	第2位	一般社団法人 日本高等学校・ 中学校ゴルフ連盟	令和5年8月5日(土)・ 令和5年8月6日(日)
25	ゴルフ	日章学園中学校	金子　純也	カネコ　ジュンヤ	2023年度全国中学校 ゴルフ選手権大会 文部科学大臣杯争奪 第67回個人の部	第3位	一般社団法人 日本高等学校・ 中学校ゴルフ連盟	令和5年8月8日(火)、 9日(水)中止
26	カヌー	ひなたカヌースプリント	村田 優之	ムラタ　マサユキ	令和5年度 全国中学校 カヌースプリント選手権大会 女子カナディアンシングル 500m	第1位	公益社団法人 日本カヌー連盟	令和5年7月14日(金) ～令和5年7月17日(月)
					令和5年度 全国少年少女カヌー大会 女子カヤックペア 200m	第2位	公益社団法人 日本カヌー連盟	令和5年7月15日(土) ～令和5年7月17日(月)
27	カヌー	宮崎県立宮崎大宮高等学校	阿部　祥子	アベ　サチコ	2023 カヌースプリントジュニア 海外派遣選手選考会 女子カナディアンペア 500m	第3位	公益社団法人 日本カヌー連盟	令和5年3月20日(月) ～令和5年3月26日(金)
28	カヌー	宮崎県立宮崎工業高等学校	大園　政伸	オオゾノ　マサノブ	文部科学大臣杯2023年度 日本カヌースプリント ジュニア選手権大会 女子カナディアンシングル 500m	第3位	公益社団法人 日本カヌー連盟	令和5年8月19日(土) ～令和5年8月22日(火)
29	武術太極拳	HIMUKAカンフークラブ	原田 将司	ハラダ　マサシ	第31回JOCジュニアオリンピックカップ 武術太極拳大会男子国際 第3套路南棍の部	第3位	公益社団法人 日本武術太極拳 連盟	令和5年4月22日(土) ～令和5年4月23日(日)
					第31回 JOCジュニアオリンピックカップ 武術太極拳大会 男子初級短器械の部	第3位	公益社団法人 日本武術太極拳 連盟	令和5年4月22日(土) ～令和5年4月23日(日)
30	バスケット ボール	三股町立三股中学校	横山　祥子	ヨコヤマ　ショウコ	令和5年度全国中学校 体育大会第53回全国中学校 バスケットボール大会	第2位	公益財団法人 日本中学校 体育連盟	令和5年8月21日(月) ～令和5年8月24日(木)
31	バスケット ボール	三股町立三股中学校	豊永 梨紗	トヨナガ　リサ	令和5年度全国中学校 体育大会第53回全国中学校 バスケットボール大会	第2位	公益財団法人 日本中学校 体育連盟	令和5年8月21日(月) ～令和5年8月24日(木)
32	水泳	西日本スイミング	中本 慎一	ナカモト　シンイチ	第63回 全国中学校水泳競技大会 男子200m個人メドレー 男子400m個人メドレー	第2位 第2位	日本中学校 体育連盟	令和5年8月17日(木) ～令和5年8月19日(土)
33	水泳	日南市立吾田中学校	甲斐 公基	カイ　コウキ	第63回 全国中学校水泳競技大会 男子200m個人メドレー 男子400m個人メドレー	第2位 第2位	日本中学校 体育連盟	令和5年8月17日(木) ～令和5年8月19日(土)

令和5年度公益財団法人宮崎県スポーツ協会「スポーツ奨励賞」受賞団体

スポーツ奨励賞:団体 5団体28名

NO	競技名	所属	選手名・学年			スポーツ競技大会実績			
			氏名	フリガナ	学年	大会名	成績	主催団体	大会期間
1	ラグビーフットボール	宮崎県立宮崎西高等学校	大竹　虎之介	オオタケ　トラノスケ	3	令和4年度第24回九州高等学校10人制ラグビーフットボール大会	第1位	九州ラグビーフットボール協会	令和5年3月18日(土)～令和5年3月19日(日)
			甲斐　瑛大	カイ　エイダイ	3				
			池田　哲郎	イケダ　テツロウ	3				
			岩野　椋	イワノ　リョウ	3				
			石川　智也	イシカワ　トモヤ	2				
			井村　崇太	イムラ　シュウタ	3				
			幣　拓実	シデ　タクミ	3				
			竹之下　凌	タケノシタ　リョウ	2				
			後藤　健多郎	ゴトウ　ケンタロウ	3				
			假屋　海惺	カリヤ　カイセイ	3				
			田中　真人	タナカ　マヒト	2				
2	バドミントン	日章学園中学校	坂田　琉凪	サカタ　ルナ	3	第52回九州中学校バドミントン競技大会	第1位	九州中学校体育連盟	令和5年8月7日(月)～令和5年度8月8日(火)
			本城　琴美	ホンジョウ　コトミ	3				
			松尾　香春	マツオ　コハル	3				
			杉本　稀咲	スギモト　キサキ	2				
			宇都宮 理央南	ウツノミヤ　リオナ	1				
3	アーチェリー	宮崎県立延岡星雲高等学校	椎葉 一順	シイバ　イヨリ	2	令和5年度第40回九州高等学校アーチェリー新人大会男子団体	第1位	九州アーチェリー連盟九州高等学校体育連盟	令和5年10月21日(土)～令和5年10月22日(日)
			岸田 哲明	キシダ　テツアキ	2				
			上米良 颯太	カンメラ　ソウタ	2				
			林田 澄馬	ハヤシダ　トウマ	2				
4	アーチェリー	宮崎県立延岡星雲高等学校	溝辺 愛音	ミゾベ　アイネ	2	令和5年度第40回九州高等学校アーチェリー新人大会女子団体	第1位	九州アーチェリー連盟九州高等学校体育連盟	令和5年10月21日(土)～令和5年10月22日(日)
			柳田 美佳	ヤナギタ　ミカ	2				
			髙木 天音	タカキ　アマネ	2				
			輝 彩也香	テル　サヤカ	2				
5	空手道	新富町立富田中学校	瀬戸口 めるも	セトグチ　メルモ	3	令和5年度九州中学校体育大会空手道競技会	第1位	九州中学校体育連盟	令和5年8月9日(水)～令和5年8月10日(木)
			川路　仁幸	カワジ　ニコ	2				
			藤原　弥生	フジワラ　ヤヨイ	2				
			牧野　瑞葵	マキノ　ミズキ	1				

令和5年度公益財団法人宮崎県スポーツ協会「スポーツ奨励賞」受賞者

スポーツ奨励賞:個人 11名

NO	競技名	所属	選手名・学年			スポーツ競技大会実績			
			氏名	フリガナ	学年	大会名	成績	主催団体	大会期間
1	柔道	宮崎市立高岡中学校(宮崎日大クラブ)	稲毛　歩夢	イナゲ　アユム	3	九州中学校柔道競技大会男子個人-81kg級	第1位	九州中学校体育連盟	令和5年8月8日(火)～令和5年8月10日(木)
2	柔道	宮崎日本大学高等学校	福永　葉子	フクナガ　ハコ	3	九州女子ジュニア柔道体重別選手権大会-52kg級	第1位	九州柔道協会	令和5年7月2日(日)
3	柔道	日章学園中学校	堂森　遥空	ドウモリ　ソラ	2	第53回九州中学校柔道競技大会男子90kg超級	第1位	九州中学校体育連盟	令和5年8月8日(火)～令和5年8月10日(木)
4	相撲	延岡相撲道場(北方学園中学校)	甲斐　陽太	カイ　ヨウタ	2	第6回全九州中学生相撲新人選手権大会	第1位	九州相撲連盟	令和5年9月24日
5	自転車	宮崎ジュニアサイクルクラブ(都城市立志和池中学校)	新盛　琉斗	シンモリ　リュウト	3	2023年九州自転車競技選手権大会	第1位	九州自転車競技連盟	令和5年7月15日(土)～令和5年7月17日(月)
6	自転車	宮崎ジュニアサイクルクラブ(三股町立三股中学校)	吉丸　虎太	ヨシマル　コウタ	3	2023年九州自転車競技選手権大会	第1位	九州自転車競技連盟	令和5年7月15日(土)～令和5年7月17日(月)
7	空手道	宮崎第一高等学校	平田　奨英	ヒラタ　ショウエイ	2	令和5年度全九州空手道選手権大会少年男子組手	第1位	公益財団法人全日本空手道連盟	令和5年7月15日(土)～令和5年7月16日(日)
8	空手道	串間松濤館(串間市立福島小学校)	和田　春人	ワダ　ハルト	5	令和5年度全九州少年少女空手道選手権大会5年男子組手	第2位	公益財団法人全日本空手道連盟	令和5年11月4日(土)～令和5年11月5日(日)
9	空手道	夢道場(宮崎市立生目小学校)	渡邊　愛夢実	ワタナベ　アユミ	5	令和5年度全九州少年少女空手道選手権大会5年女子組手	第1位	公益財団法人全日本空手道連盟	令和5年11月4日(土)～令和5年11月5日(日)
10	ゴルフ	日章学園高等学校	荒木　優奈	アラキ　ユウナ	3	2023年度第42回九州ジュニア選手権競技	第1位	九州ゴルフ連盟	令和5年7月27日(木)・28日(金)
11	ゴルフ	日章学園高等学校	菅　楓華	スガ　フウカ	3	2023年度第53回九州女子選手権競技	第1位	九州ゴルフ連盟	令和5年5月10日(水)・11日(木)・12日(金)

令和5年度公益財団法人宮崎県スポーツ協会「スポーツ奨励賞」受賞者

スポーツ奨励賞:指導者 15名

NO	競技名	所属	指導者名		スポーツ競技大会実績			
			氏名	フリガナ	大会名	成績	主催団体	大会期間
1	ラグビーフットボール	宮崎県立宮崎西高等学校	黒木　孝	クロキ　タカシ	令和4年度第24回 九州高等学校10人制ラグビーフットボール大会	第1位	九州ラグビーフットボール協会	令和5年3月18日(土) ～令和5年3月19日(日)
2	ラグビーフットボール	宮崎県立宮崎西高等学校	江並　博智	エナミ　ヒロノリ	令和4年度第24回 九州高等学校10人制ラグビーフットボール大会	第1位	九州ラグビーフットボール協会	令和5年3月18日(土) ～令和5年3月19日(日)
3	柔道	日章学園中学校	田中　秀幸	タナカ　ヒデユキ	九州中学校柔道競技大会 男子個人90kg超級	第1位	九州中学校体育連盟	令和5年8月8日(火) ～令和5年8月10日(木)
4	柔道	日章学園中学校	香川　純子	カガワ　ジュンコ	全国中学校柔道大会 男子個人90kg超級	第5位	日本中学校体育連盟	令和5年8月17日(木) ～令和5年8月20日(日)
5	相撲	延岡相撲道場	岸本　武	キシモト　タケシ	第6回全九州中学生相撲新人選手権大会	第1位	九州相撲連盟	令和5年9月24日(日)
6	バドミントン	日章学園中学校	武末　昌也	タケスエ　マサヤ	第52回九州中学校 バドミントン競技大会	第1位	九州中学校体育連盟	令和5年8月7日(月) ～令和5年8月8日(火)
7	バドミントン	日章学園中学校	前田　一成	マエダ　イッセイ	第52回九州中学校 バドミントン競技大会	第1位	九州中学校体育連盟	令和5年8月7日(月) ～令和5年8月8日(火)
8	自転車	宮崎県自転車競技連盟 (宮崎ジュニアサイクルクラブ)	岩倉　稔典	イワクラ　トシノリ	2023年九州自転車競技 選手権大会	第1位	九州自転車競技連盟	令和5年7月15日(土) ～令和5年7月17日(月)
					2023年九州自転車競技 選手権大会	第1位	九州自転車競技連盟	令和5年7月15日(土) ～令和5年7月17日(月)
9	アーチェリー	宮崎県立延岡星雲高等学校	近藤 伸哉	コンドウ　シンヤ	令和5年度第40回 九州高等学校アーチェリー新人大会男子団体	第1位	九州高等学校体育連盟 九州アーチェリー連盟	令和5年10月21日(土) ～令和5年10月22日(日)
10	アーチェリー	宮崎県立延岡星雲高等学校	田口 惣一朗	タグチ ソウイチロウ	令和5年度第40回 九州高等学校アーチェリー新人大会女子団体	第1位	九州高等学校体育連盟 九州アーチェリー連盟	令和5年10月21日(土) ～令和5年10月22日(日)
11	空手道	新富和道会 (新富町立富田中学校)	鶴田　正利	ツルタ　マサトシ	令和5年度 九州中学校体育大会 空手道競技会	第1位	九州中学校体育連盟	令和5年8月9日(水) ～令和5年8月10日(木)
12	空手道	新富和道会 (新富町立富田中学校)	鶴田　強	ツルタ　ツヨシ	令和5年度 九州中学校体育大会 空手道競技会	第1位	九州中学校体育連盟	令和5年8月9日(水) ～令和5年8月10日(木)
13	空手道	串間松濤館	日髙　雄二	ヒダカ　ユウジ	令和5年度 全九州少年少女空手道 選手権大会5年男子組手	第1位	公益財団法人全日本空手道連盟	令和5年11月4日(土) ～令和5年11月5日(日)
14	空手道	夢道場	渡邊　誠一	ワタナベ　セイイチ	令和5年度 全九州少年少女空手道 選手権大会5年女子組手	第1位	公益財団法人全日本空手道連盟	令和5年11月4日(土) ～令和5年11月5日(日)
15	空手道	宮崎第一高等学校	花車 泰平	ハナグルマ タイヘイ	令和5年度 全九州空手道選手権大会 少年男子組手	第1位	公益財団法人全日本空手道連盟	令和5年7月15日(土) ～令和5年7月16日(日)

日本スポーツ少年団・県スポーツ少年団指導者・単位団表彰

日本スポーツ少年団指導者顕彰表彰状2名
宮崎県スポーツ少年団功労賞（個人）6名　宮崎県スポーツ少年団功労賞（団体）2団体

令和５年度日本スポーツ少年団指導者表彰、宮崎県スポーツ少年団指導者・単位団表彰については、多年にわたり本県スポーツ少年団の発展に寄与され、その功績の顕著な方または団体に贈られます。

《 日本スポーツ少年団指導者顕彰表彰状 》

西内　重夫
心道会
スポーツ少年団
（宮崎市）

徳澤　邦夫
宮崎サッカー
スポーツ少年団
（宮崎市）

《 宮崎県スポーツ少年団指導者表彰 》

岩切　辰美
宮崎洗心館
スポーツ少年団
（宮崎市）

木原　俊廣
明青塾
スポーツ少年団
（宮崎市）

小野　浩司
木城野球
スポーツ少年団
（木城町）

森　晃一
木城剣道
スポーツ少年団
（木城町）

寺田　雅彦
F･Tホーミーズ
スポーツ少年団
（日向市）

（故）黒木　一博
富高サッカー
スポーツ少年団
（日向市）

《 宮崎県スポーツ少年団単位団表彰 》

昌斌館（きょうひんかん）剣道スポーツ少年団
（宮崎市）

志和池イーグルススポーツ少年団
（都城市）

「徹底した管理指導と自主性重視の指導の違い」

～JSPOが提唱するプレーヤーズセンタードな指導を目指して～

名城大学女子駅伝部　監督　米田　勝朗

私は1995年4月に部員2名で女子駅伝部を立ち上げました。創部当時に立てた目標は、5年で全日本大学女子駅伝出場。次の5年で上位校（シード校）の仲間入り。そして次の5年で優勝するというものでした。大学院を修了したばかりの私は、監督としてチームも持つのは初めてで、女子選手の指導も初めてでした。女子の指導で実績を残している先生方の話を聞いたり、指導方法をたくさん学ばせて頂きました。そして私がとった指導方針は、**「選手を徹底的に管理する」**というものでした。長距離走は体重とパフォーマンスの相関関係が強い競技です。成長期の女子大生は食べ盛りで、摂取カロリーが消費カロリーを日々上回っていくことで体重が増えていきます。それを防ぐために徹底的に食事管理をし、一日何回も体重測定を行いました。「太るなら食べるな！」と今思えばかなり乱暴な指導をしていました。トレーニングにおいても、徹底的に走り込みをして極限まで追い込みました。その結果、創部5年目で全日本に出場し、初出場ながら5位に入賞しました。その後は順位を少しずつあげていき、2005年に創部11年目で全日本大学女子駅伝優勝を果たすことができました。結果としては管理指導が奏功し短期間で成果を残すことができました。しかしその時に周囲から聞こえてきた声は、「名城の選手は大学時代は走れるけど、卒業したらまったく走れない」というものでした。卒業後の成績をみれば確かにそうでした。学生時代すべて私から指示を受け、監督から言われるがまま競技に取り組んできた選手たちは、限界に近いところまで追い込まれていたのです。それに加え自分の考えを持たないまま学生時代を過ごしたため、アスリートとして最低限やらなくてはいけないことが自分でできない状況になっていました。日本一に一番なりたかったのは監督であって、学生たちはその犠牲になった部分が多かったのだと痛感しました。このことが切っ掛けで、私自身は指導方針を大きく変えなければならないと思いました。大学女子駅伝で勝つことが最終目標ではなく、その先にあるオリンピックや世界選手権で活躍する選手を育てることが大学の指導者として大切なことだと思ったのです。

そして私は指導方針を180度方向転換しました。アスリートとしてやるべきことを自分でしっかりやれること。**何をするにしても自分で考えて行動すること。**とにかく選手の自主性を大切にすることを指導の基本にしていくことを決めました。しかし、今まで管理されてきた選手たちが「今日から自主性を大切にする」と言われても、簡単にできるものではありませんでした。自主性＝自由と勘違いする選手も出てきました。選手としての意識も低くなり、身体の管理ができない選手も増えました。それと並行するように駅伝の順位も7,6,7位と落としました。「名城はもう終わった」とも言われました。しかし私は「我慢、我慢、我慢」と自分に言い聞かせていました。「口を出せばまた同じことになる。ここで怒ったら以前の繰り返しになってしまう」毎日がストレスの連続でした。ただ私がやるべきことは選手たちを見守り、アスリートとしてあるべき姿に近づいていけるようサポートすることだけでした。

そしてチームは、指導方針を変えてから10年ぐらい経ったころから変化が見られるようになりました。例えば朝練習ひとつにしても、スタートギリギリまで寝ていた選手たちが、スタートの1時間前には起床し、入念に準備運動やストレッチをやるようになったのです。いろいろな面において、自分でできる選手の数が、できない選手の数を上回っていき、チームの中であたりまえのレベルが上がっていきました。そして学生たちの口から「絶対日本一になりたい！」という言葉が出るようになったのです。

そして2017年10月。チームは12年ぶりに2回目の優勝を果たしました。同じ日本一ですが、その価値はまったく違うものだったと思います。指導者に勝たせてもらった優勝が1回目なら、2回目は選手が自分たちで勝ちとった優勝です。この結果を残すまでに12年かかりましたが、チームは崩れない強さを築き上げることができました。全日本では2017年以降勝ち続け、2023年の大会まで7連覇（史上初）しています。

私は以前、「我慢しろ」という言葉をよく口にしていました。厳しい練習も、甘いものの誘惑も、勝つためには我慢しろと言い続けてきました。しかし最近は「我慢しろ」という言葉は使わなくなりました。それは選手としての高い意識があれば当然、自分でやるべきこと。自分たちで考え、目標を明確にし、個人でもチームでもぶれずに取り組んでいくことこそ、本物の強さを身につけることだとあらためて感じています。

今年の夏（2023年8月）、ブダペストで開催された世界陸上に二人の卒業生が日本代表として出場しました。彼女たちが日の丸をつけて走る姿を見たとき、今の指導方針で取り組んでいることに間違いはないことを確信することができました。

最後に、私は故郷の宮崎そして高千穂が大好きです。高校卒業まで高千穂で過ごした18年間が私の原点です。宮崎県出身者として、2027年に開催される第81回国民スポーツ大会と第26回全国障害者スポーツ大会の成功を心からご祈念申し上げます。

副会長就任のごあいさつ

公益財団法人宮崎県スポーツ協会
副会長　**吉田　建世**

この度、宮崎県スポーツ協会副会長に就任致しました延岡市スポーツ協会より選出の吉田建世でございます。就任にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

私が2019年度より理事としての最初の2期は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、感染対策に追われた時期でした。宮崎県スポーツ協会としても自粛が求められました。私は、職業柄、宮崎県医師会の新型コロナウイルス感染症対策担当理事として、スポーツ協会においても、その当時の感染状況や今後の見通し、スポーツ大会などの開催基準などをお伝えして、皆様に対応して頂いた所であります。令和5年5月に国が新型コロナウイルス感染症を5類相当に変更してから、国民の皆様も動けるようになり、ようやくスポーツが活発に行われるようになりました。

副会長に就任した今期からの役目は、当協会の目的の、県民に対しスポーツの健全な普及を図り、県民の体力向上と本県の発展に寄与することでありますが、特に重点項目が、2027年に開催される「第81回国民スポーツ大会・第26回全国障がい者スポーツ大会」に向けた競技力向上です。前回1979年の宮崎国体では、天皇杯・皇后杯ともに1位で終えることができましたが、2027年大会の優勝に向けて、当協会だけでなく、県・市町村行政、民間、県民あげて、オール宮崎で取り組んで行かなければ、実現はできません。令和5年6月30日に2027みやスポ神話（親和）会が立ち上がり、機運も盛り上がってきたところです。是非、県民の皆様のご協力をお願い致します。

また、宮崎国スポに向けて、県内では、宮崎市に新宮崎県プール、都城市に新宮崎県陸上競技場、延岡市には新宮崎県体育館が整備中で、「スポーツランドみやざき」の新たな拠点が全県に展開されております。延岡市では、令和5年8月20日に「新宮崎県体育館サブアリーナ・オープニングセレモニー」があり、車椅子バスケットなどのアトラクションが行われました。サブアリーナが完成し、残るメインアリーナの完成に向け着々と工事が進められている所です。新宮崎県体育館は、今後、スポーツによる県北地域の活性化に大きく貢献するものと考えております。全国レベルの競技大会やプロ・実業団のスポーツキャンプ等の誘致を進め、県民の競技力向上を図るとともに、県民の体育・スポーツの拠点施設として、県民の健康増進・障害スポーツの推進を図っていけるものと期待しております。

また、延岡市では、新県体育館の整備とともに、多目的施設の整備、西階野球場のリニューアルも進んでおり、新県体育館を含めた施設利用を拡大し、同時に延岡市が掲げる「アスリートタウン」「健康長寿のまちづくり」を推進できればと考えております。

宮崎県スポーツ協会副会長として、会長をサポートし、県民の皆様に、スポーツで得られる、健康増進や青少年の社会性育成、ストレス解消、達成感、生きがい作り、人との連帯感の醸成などの、多くのすばらしい利点をお伝えできたらと考えております。

今後ともご指導、ご支援のほどをよろしくお願いいたします。

副会長就任のごあいさつ

公益財団法人宮崎県スポーツ協会
副会長　**田村　司**

本年度、宮崎県スポーツ協会副会長を拝命いたしました。未熟なところも多々あると思いますが、よろしくお願いいたします。

私は、約２０年にわたり高等学校の教員として、ハンドボール競技の部活動の指導を行い、その後、本県のスポーツ振興の推進を所管する部署での職務に携わることになりました。その業務に係わる中で、スポーツの振興とは競技力の向上と捉えがちになることが多かったのですが、健常者だけではなく、障害を持つ人、年齢、性別などに拘らず、誰でも、どこでも、気軽に参加でき活動しやすい環境、場を県民の皆様の理解と支援を得て、中・長期的な観点で構築していくことが大切ではないかと考えるようになりました。その結果として、スポーツ活動が活性化し、競技力の向上が図られるとともに、県民の健康の増進やコミュニティの充実にも繋がるのではないかと思っています。

今年、鹿児島県で開催された特別国体「燃ゆる感動かごしま国体」では、多くの競技で本県選手団の奮闘・活躍があり、天皇杯成績(男女総合成績)で目標としていた２０位台となる２７位を達成することができました。さらに、全国障害者スポーツ大会(燃ゆる感動かごしま大会)においても、計３９個(金１４，銀１１、銅１４)のメダルを獲得する素晴らしい活躍がありました。結果を出せず悔しい思いをされた方を含め、全ての選手の皆さんお疲れさまでした。これからも益々の御活躍を期待しています。そして、日頃から活動を支援していただいている多くの皆様にも心より感謝を申し上げます。

終わりに、元気で明るく活力に満ちた宮崎県になれるよう、本県のスポーツの振興を図るための課題への対応と活動の充実に向けて、微力ではありますが取り組んでいきたいと考えておりますので、皆さんのお力添えをよろしくお願いいたします。

副会長就任のごあいさつ

公益財団法人宮崎県スポーツ協会
副会長　**串間　敦郎**

このたび、副会長に選任され企画・育成・強化委員長を拝命しました、串間敦郎でございます。この重責を担わせていただくことに深い感謝と責任を感じております。これまで宮崎陸上競技協会の推薦により、本協会の評議員を13年、その後昨年まで理事を9年務めさせていただきました。

私が20数年前に評議員になった頃と現在では、スポーツ界を取り巻く環境が大きく変化しています。特に強く感じるのは、一般社会との緊密な関係性が求められ、スポーツ界で行われていた様々な事象が社会では通用しなくなっていることです。今やあらゆる組織や団体は「ガバナンス（統制・管理）の強化」「コンプライアンス（法令順守）・スポーツインテグリティ（高潔、誠実、真摯）の推進」を実践しなければなりません。これは本協会だけでなく、協会に加盟している競技団体にも同様に求められています。初めは窮屈に感じられるかもしれませんが、これらの原則を組織として受け入れ、順守することで、組織に所属する会員等は、持てる力を発揮することができ、組織の目的に資するパフォーマンスを発揮することができるでしょう。さらに、近年はインターネットやデジタル技術の進展により、社会の情報化が急速に進んでいます。各組織は、ICTの利用によりデジタルトランスフォーメーション（DX）への移行を進めることで組織を効率的に運営し、競技力向上に必要とされるあらゆる情報を収集し活用することで、選手強化やイノベーション（技術革新）を促進できると考えます。

宮崎県は、３年半後に迫った宮崎国民スポーツ大会で天皇杯獲得を目指すと公言しています。そのためには、先述の変化に早急に対応していくことが不可欠だと思います。また国スポ後は、レガシーを活かした競技力の維持と普及も大事な視点だと思いますので、これらの推進をサポートしていきたいと考えています。

スポーツは大きな力を持っています。皆の心を一つにし、人々に感動や勇気、元気を与えることができます。本協会の活動が、スポーツを「する」「見る」「支える」ことを通して、県民の健康増進、共生社会の実現と地域の活性化等にも寄与できればと思います。私も本県スポーツ界の発展に、微力ながら貢献していきたいと考えております。今後ともご協力、ご支援いただきますようお願いいたします。

副会長就任のごあいさつ

公益財団法人宮崎県スポーツ協会
副会長　**永友　郁子**

この度、令和５年度の宮崎県スポーツ協会副会長及び倫理コンプライアンス委員長を務めることとなりました、弁護士の永友郁子でございます。

今回、当協会改革の一環としてクオータ制を導入し、女性理事の登用を促すと共に、倫理コンプライアンス委員会を新設しその委員長の任に女性副会長が就くこととなりました。

私自身はスポーツ全般と縁遠い人間ではありますが、そのような立場からふと思うのは、最近「体育会系」なる言葉を耳にしなくなったということです。閉鎖的な風土の中で気合や根性といった合理性に乏しい理由に基づいて努力を強要するということなどは、もはやスポーツの範疇には存在しなくなったと言うことの一つの証左なのではないかと思います。

言うまでもないことではありますが、スポーツに携わることはすべての人に与えられた権利です。年齢や性別、性自認、障がいの有無、国籍と言ったあらゆる垣根を越えて、それぞれの置かれた立場で、それぞれのスタンスで楽しむことができるのがスポーツの持つ最大の魅力ではないでしょうか。多様性が尊重される今日において、社会が抱える多くの問題を解決に導く手がかりとなるものを、スポーツの本質は有していると感じています。

JSPO では、令和５年度より「NO ！スポハラ」活動を行っております。2027 年に国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催を控え、「スポーツランド宮崎」を標榜する本県において、チームや団体に対してではなく、スポーツそのものに対するインテグリティを向上させる事は大切な課題であり、多くのプロチームや代表チームがキャンプ地として訪れるスポーツ先進県としての地位を確立するためにも必要なことだと考えます。

「Lets ‘ enjoy　みやスポ」のスローガンの通り、どこでも誰でも楽しめる本県スポーツの振興のため、微力ではございますが努力してまいりますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

12年間有難うございました!

廣田　彰

宮崎県スポーツ協会、佐藤勇夫前会長 春山豪志現会長の下で、１２年間副会長の仕事させていただきました。 その１２年間を振り返ってみます。

○「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」

大学教員としての４０数年間、その仕事のほとんどは教育・研究の生活であり、ひとりで仕事をすることが当たり前だった私が、協会の副会長として、いろいろな方の力をお借りしながら業務を実施していくことに当初は大変な戸惑いを感じていました。しかし、協会の仕事は、関係する人々との繋がりで成り立つことから、ただただ聞くことに専念する毎日でした。

○「単糸 線を成さず」、「３人寄れば文殊の知恵」

仕事に少しずつ慣れていくにつれて学んだのが「単糸　線を成さず」で、一人では何もできないけどいろいろな人との中から生まれてくるものがたくさんあるということを学びました。

○「スポーツの感動はいつの世も同じだな！」

在任期間中、毎回国民体育大会の開会式で入場行進をさせていただき、競技場のフィールドの中からでしか見ることのできない景色に感動を覚えました。約半世紀前に選手として３回(S４０岐阜、S４１大分、S４２埼玉) 同じ場に立っていたことを思い出しながら、「いつの時代でもこの感動は同じだな! スポーツって素晴らしいな！」としみじみ思いました。

○「いい話し合いとは意見が違うという出発点から始まり、協力しようで締めくくるもの」

定期的に開催される委員会では事務局の筋書き通りに事が進められますが、私はそれをできる限り避ける努力をしました。筋書きが前面に出すぎると出席する委員は何も言わないで帰ります。それでは委員の役割は半減します。そこで、できる限り提供する情報を少なくし、会の中で多くの意見が出るように仕向けました。意見が出れば、協力しよう! やろう! になります。

副会長としての歩みと県スポーツ協会の今後の展望

野﨑　伸一

令和５年６月をもって、公益財団法人宮崎県スポーツ協会副会長を無事退任させていただきました。長い間、ご支援、ご協力下さった方々に心からお礼と感謝を申し上げます。在任中は、総務委員長を務めさせていただき、協会の運営全般に関わらせていただきました。

また、同時に宮崎市スポーツ協会会長としても、宮崎市民体育大会第７０回記念事業「ＳＯＭＰＯボールゲームフェスタin宮崎」、創立７０周年記念事業「元気アップ！第１回宮崎市民一斉体力測定」、創立７０周年記念事業「宮崎市ジュニアアスリート・スポーツ指導者サポート講習会」を開催させていただくなど、健康やスポーツに関する多くの事業を開催させていただきました。

更に、１９６４年の東京オリンピック以降、スポーツが広く人々や社会に浸透し、発展してきたことにより、現在では「スポーツ」は体育や身体活動の概念を含むものと認識されるようになる中、そのような時代の流れを鑑み、より多くの市民のスポーツ参画を促し、スポーツという文化を今後へつないでいくため、令和４年に「公益財団法人　宮崎市体育協会」を「公益財団法人　宮崎市スポーツ協会」と名称変更の歴史的な場面に立ち会うことができたのも感慨深いものがあります。

公益財団法人宮崎県スポーツ協会も令和５年度より新体制となり、２０２７宮崎国スポ・障スポの開催、天皇杯獲得等を目指し、県内のスポーツに関する機運醸成、競技力向上に向けた中心的な役割を求められることと思います。

全ての県民の皆様が、これまで以上にスポーツに興味関心を持ち、健康のためにマイスポーツに取り組むなど、本県のスポーツ熱がますます高まることを祈念し、関係者の皆様に、心から感謝を申し上げ、私の退任の挨拶とさせていただきます。

本当にありがとうございました。

令和５年度　事業報告

総　括

公益法人としてより一層の組織体制全般及び事務、事業の推進を図り、加盟団体との連携体制の適正化や事務事業の効率化、競技力向上やタレント発掘事業、スポーツ医・科学事業、総合型地域スポーツクラブ等、各事業の推進において、一定の成果を上げることができた。

（１）会議、委員会、研修会
- ・定例理事会を３回、臨時理事会を２回（６月・９月）開催した。
- ・定時評議員会を1回、臨時評議員会を２回（１１月・３月）開催した。
- ・評議員選定委員会を２回開催した。
- ・総務委員会、財務委員会を３回開催した。
  企画委員会、強化・育成委員会を３回開催した。
  普及委員会、表彰委員会を３回実施し、倫理・コンプライアンス委員会を２回開催した。
- ・４月に加盟団体事務事業説明会を開催した。

（２）自主財源確保事業（令和６年１月末現在）
- ・賛助会員募集　法人・企業・団体会員：１３１件、
  個人会員：５０件
- ・協賛広告募集　２０件
- ・オリジナルシャツ販売　３９４着
- ・Sports for all推進費付き自動販売機　４台

１　競技力向上事業

継続、安定した競技力を目指し、関係機関団体と連携して、事業等の検証、競技団体の組織運営の向上、指導者の育成、県民の理解、支援拡大に取り組んだ結果、各事業で下記のとおりの成果を上げることができた。

（１）選手強化事業
- ・競技団体４１団体、個人９名に事業費の一部を補助した。

（２）ワールドアスリート発掘・育成プロジェクト事業
- ・世界や全国の舞台で活躍できるトップアスリートの育成を目指して、小５から中３までの１３４名のアスリート生を対象に、月２回の育成プログラムや専門化を図るためのパスウェイプログラムを実施した。

（３）加盟団体組織整備事業
- ・競技団体４１団体に強化対策活動費の一部を補助した。

（４）強化推進事業
- ・本会と競技団体との協議：１２月から１月にかけて、４１競技団体にヒアリングを実施した。
- ・チームみやざきミーティング
  第１回：５月１１日、４１競技団体の各種別監督等を対象に、ひなた武道館主道場において「令和５年度の強化計画の推進」等について各競技団体がグループワークを行い意見交換した。
  第２回：１１月１６日、４１競技団体の理事長や強化委員長等を対象に、ひなた武道館主道場において、「2027年宮崎国スポに向けての競技力向上対策」等について、各競技団体がグループワークを行い意見交換した。
- ・国民体育大会強化指定証交付：４１競技団体１，８１７名に交付した。
- ・視察、激励、支援要請のため、競技団体、企業、学校等を訪問した。

（５）国体選手育成強化事業
- ・大学・社会人スポーツ支援：８団体、個人３３名を指定して活動費の一部を補助した。

（６）アスリート育成支援プロジェクト事業
- ・トップチーム活用事業：１２団体を指定して活動費の一部を補助した。
- ・メンタルコーチ等活用事業：１３団体を指定して活動費の一部を補助した。

（７）女性アスリート強化戦略プロジェクト事業
- ・ネクストアスリート強化指定選手２４名とスポーツ環境支援として５名のママさんアスリートに対して活動費の一部を補助した。

（８）障がい者アスリート支援事業
- ・今年度対象者なし。

（９）チームみやざき強化アドバイザー招へい事業
- ・３３競技４７種目を指定して活動費の一部を補助した結果、高い指導力や豊富な指導経験を有する全国トップレベルの指導者を「チームみやざき強化アドバイザー」として招聘し、各競技団体の競技力強化を図ることができた。

(10) ターゲットエイジ強化プロジェクト事業
- ・３６競技団体に対して活動費の一部を補助した。

(11) ふるさと選手活動支援
- ・１６競技団体に対して活動費の一部を補助した。

(12) コンディショニングサポート事業
- ・２７競技２９種別にトレーナーを派遣した。

２　国民体育（スポーツ）大会派遣事業

帯同コーチ、ドクター、トレーナーの確保を図り、その派遣等を通して試合環境の整備を推進することができた。

（１）国民体育大会九州ブロック大会派遣
- ・夏季大会：７月に大分県他で開催の１０競技に選手、役員等２２２名を派遣した結果、５競技で１７の代表権を獲得した。
- ・秋季大会：８月に大分県で開催の２１競技に選手、役員等６８５名を派遣した結果、１４競技で２１の代表権を獲得した。
- ・冬季大会：１２月に福岡県で開催の１競技に選手、役員等４９名を派遣した。

（２）国民体育（スポーツ）大会派遣
- ・本大会：９月から１０月に鹿児島県で開催の３１競技に選手、役員等５２３名を派遣した結果、１３競技１９種別の団体、１１競技５０種目の個人が入賞し、天皇杯順位２７位という成績を収めた。
- ・冬季大会：１月に北海道、２月に山形県開催の２競技に選手、役員等４９名を派遣した。

（３）コーチ派遣
- ・国民体育大会九州ブロック大会：１１２名を派遣した。
- ・本国体：９６名を派遣した。
  （九ブロ敗退競技の視察研修１０名含）
- ・冬季大会：４名を派遣した。
  （九ブロ敗退競技の視察研修２名含）

（４）ドクター、トレーナー派遣
- ・国民体育大会九州ブロック大会にトレーナーを４名派遣した。
- ・本国体にドクター５名、トレーナーを５名派遣した。
- ・冬季大会にトレーナー１名派遣した。

３　みやざき県民総合スポーツ祭事業

総合開会式は６月３日ひなた武道館主道場で開催し、大会は６市７町５７会場で５月から９月の間、５６競技に１１，０５９名が参加した。

4　スポーツ指導者養成事業

・公認スポーツ指導者の活用、活躍に向けて、公認スポーツ指導者資格の啓発、指導者の資質向上に取り組み地域のスポーツ指導者の取組を支援することができた。
・宮崎県スポーツ指導者協議会理事会を２回開催した。
・スポーツ指導者研修会を２月３日､ひなた武道館大会議室・柔道場で開催し、約１７０名が参加した。
特別講演：「スピードスケート金メダリストの成長を支えて」
講師　結城匡啓　氏(信州大学学術研究院　教授)
講義：「体の使い方が変わる４つの底力(そこぢから)～トレーニング理論と実践～」
講師　菅原康史　氏(株式会社DONOW代表取締役)
・全国スポーツ指導者連絡会議はオンラインで開催した。
・表彰推薦：日本スポーツ協会公認スポーツ指導者等表彰を２名が受賞した。
・スポーツ指導者協議会機関誌「躍動みやざき」(第１２号)を発行した。

5　地域スポーツ振興事業

競技の普及、競技力の向上、スポーツに対する県民の意識向上のため、加盟団体、報道機関、行政等と連携して、関係事業を推進することができた。

(１)総合型地域スポーツクラブ設立、育成支援
・今年度までに１７市町村３２クラブとなった。
・クラブ連絡会議を２回、県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会を２回開催した。
・クラブマネジメントセミナーを実施した。
・クラブ訪問を２２登録クラブに実施した。

(２)生涯スポーツ普及活動支援事業
・総合型地域スポーツクラブ５クラブ、生涯スポーツ加盟団体２団体が事業を実施した。

(３)加盟団体組織整備補助
・国体競技団体以外の１３競技団体と３学校体育団体、１５市郡体育・スポーツ協会に補助金を交付した。

(４)第１３回宮崎チャレンジマッチ
・６月２５日ひなた宮崎県総合運動公園体育館においてウエイトリフティング競技を開催し、京都府立海洋高等学校ウエイトリフティング部１６名の選手を迎え本県選抜選手１３名が６階級でチャレンジマッチを実施した。

(５)名義後援、共催
・加盟団体等の事業、大会後援：７４件(大会中止１件)、大会の共催：２件

6　スポーツ医・科学事業

宮崎県スポーツ協会アスレティックトレーナー(ＡＴ)育成講習会を５回実施し、２０２７宮崎国スポ・障スポに向けてＡＴの資質向上を図り､活用を更に推進することができた。
・スポーツ医･科学委員会を３回開催した。
・ドーピング防止研修会：９月と１月の国体・国スポ結団壮行式で監督、選手等を対象にして２回実施した・スポーツ相談：国体結団壮行式の開催に合わせて実施した。
・メディカルチェック
１１月１９日、国スポ候補選手(陸上、バドミントン、ウエイトリフティング、ホッケー、水球、パラスポーツ)の６競技８３名に実施した。
・メディカルチェック報告会は１月下旬から２月にかけて、各競技で行った。
・日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成講習会に２名派遣し、日本スポーツ協会公認ドクター養成講習会に２名を推薦した。

7　スポーツ顕彰事業

表彰の推薦及び表彰事務が適正、円滑に行われるよう規程等を見直し、整備することができた。
・スポーツ功労賞、優秀賞、奨励賞、推進賞：個人４３名と２団体を表彰した。
・小・中・高生を対象にしたスポーツ優秀賞、奨励賞、１７団体、延べ３７名の選手、４８名の指導者を表彰した。
・宮崎県スポーツ少年団功労賞は、２団体、個人６名を表彰した。

8　スポーツ少年団事業

団員減少、指導者の資質向上、学校及び地域のスポーツ団体との連携など課題解決に組織全体で取り組んだ。今年度の登録団数は６８４団、登録団員は１２，１８９名(前年度７０２団、１２，０５４名)、登録指導者は１，５５９名(前年度１，６５９名)で団員は増加し、指導者は減少した。

(１)宮崎県中央大会：４年ぶりに通常開催した。

(２)九州ブロック競技別交流大会
・宮崎県開催(サッカー)は、新富町フットボールセンターにて３日間の日程で開催した。
・全国スポーツ交流大会(バレーボール)は、男女各１単位団参加した。(剣道):参加単位団なし。

(３)スタートコーチ養成講習会：対面形式で開催し２３６名が終了した。

(４)リーダー育成事業
・ジュニア・リーダースクール：２日間の日程で開催し、１６名が参加した。
・九州ブロックスポーツ少年大会：指導者１名、団員５名が参加した。
・全国スポーツ少年大会：参加なし。
・リーダー会活動：リーダーメンバー不在のため未実施。

(５)母集団育成研修会､ブロック別研修会､リーダー研修会
・母集団育成事業を６市町で開催。
・初級ジュニア・リーダー研修会は１市の申請となった。

9　広報及び記録収集、活用事業

本会、加盟団体及び本県スポーツに対する認識向上のため､ＳＮＳの活用などあらゆる機会を利用して情報を発信することができた。

(１)広報
・広報機関誌宮崎スポ協第２２３号の発行：県内関係機関に、３月末に１，７８０部発行した。
・スポーツイベントの周知：年４回、ホームページで掲載
した。
・ＨＰ運用：月平均アクセス数３１５，４５２件
・国民体育大会や本会に関わる会議、事業等の様子を即時に情報発信できるようフェイスブックの活用に努めるとともに､ＨＰ上に国民体育大会申込専用ページをリンクさせ、情報発信に努めた。
・広報機関誌やＨＰを利用し、本県スポーツ施設の利用促進のための情報を発信した。

(２)記録収集、活用
・本会、加盟団体の事業、活動記録及び本県スポーツ情報を収集・管理し､ＨＰ等を通して県民に提供した。

10　スポーツ交流事業

日本スポーツ協会の交流事業(受入)
日独スポーツ少年団同時交流受入は三股町で実施した。
派遣は、参加なし。

令和5年度　公益財団法人宮崎県スポーツ協会役員

区分	氏名	所属・団体及び役職名	区分	氏名	所属・団体及び役職名
会長(代表理事)	春山　豪志	株式会社宮崎放送代表取締役	評議員	大野　隆文	県ライフル射撃協会
副会長(理事)	橋口　光雄	宮崎経済同友会副代表幹事	〃	岡　　俊彦	県ボクシング連盟
副会長(理事)	吉田　建世	一般社団法人延岡市スポーツ協会副会長	〃	杉田藤一	県銃剣道連盟
副会長(理事)	串間　敦郎	宮崎県スポーツ指導者協議会理事	〃	永田　　崚	県フェンシング協会
副会長(理事)	田村　　司	宮崎県ハンドボール協会副会長	〃	那須　　司	県ローイング協会
副会長(理事)	永友郁子	弁護士法人衛藤法律特許事務所弁護士	〃	野村光秋	県アーチェリー協会
専務理事	藤本　　格	公益財団法人宮崎県スポーツ協会	〃	平島　　昇	県セーリング連盟
理事	金川敏洋	宮崎県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会会長	〃	杉本敏文	県ホッケー協会
〃	井上竜志	宮崎県スポーツ推進委員協議会副会長	〃	西内重夫	一般社団法人宮崎県空手道連盟
〃	小嶋忠史	宮崎県スポーツ少年団本部長	〃	久保貴嗣	県スケート連盟
〃	大山俊郎	株式会社宮崎日日新聞社運動部長	〃	佐澤　　勲	県スキー連盟
〃	川野彰裕	宮崎県スポーツ医・科学委員会委員	〃	佐々木逸夫	県なぎなた連盟
〃	那須雅博	宮崎県高等学校体育連盟会長	〃	宮田優志	県カヌー協会
〃	河野敏史	一般財団法人宮崎陸上競技協会副理事長	〃	原口宏史	県ボウリング連盟
〃	石田喜克	宮崎県ラグビーフットボール協会理事長	〃	須川智弘	県少林寺拳法連盟
〃	小山武男	宮崎県テニス協会副会長	〃	吉田詔一	県四半的弓道連盟
〃	立山　　慎	宮崎県少林寺拳法連盟事務局長	〃	愛甲昭彦	県ゲートボール協会
〃	水島千江子	一般財団法人宮崎県水泳連盟理事長	〃	図師文明	県アイスホッケー連盟
〃	岩切久実	宮崎県弓道連盟理事	〃	窪田ひとみ	県ミニバレーボール協会
〃	西山瑞恵	宮崎県フェンシング協会理事長	〃	菊池政雄	県グラウンド・ゴルフ協会
〃	橋口昭彦	宮崎県セーリング連盟会長	〃	兵頭三郎	県武術太極拳連盟
〃	押方　　修	公益財団法人宮崎市スポーツ協会副会長	〃	倉永良一	県ゴルフ協会
〃	安藤洋之	川南町スポーツ協会会長	〃	菊地昌平	県トライアスロン連合
〃	安田昭一	小林市スポーツ協会副会長	〃	福田紀行	県綱引連盟
〃	房安生二	日南市スポーツ協会会長	〃	宮川泰也	県ミニテニス協会
〃	古川康二	宮崎県中学校体育連盟会長	〃	川畑太志	NPO法人県サーフィン連盟
〃	津曲章子	株式会社宮崎観光ホテル取締役営業本部長	〃	大重陽一	県パークゴルフ協会
〃	奥松美恵子	一般社団法人日本パラ陸上競技連盟常務理事	〃	中武久美子	県エアロビック連盟
〃	久保真由美	宮崎県立日向高等学校教諭	〃	日高正憲	県ダンススポーツ連盟
〃	山口奈美	宮崎大学医学部助教	〃	宅間俊明	県スポーツウエルネス吹矢協会
監事	杉村廣一	公益財団法人宮崎市スポーツ協会専務理事	〃	松元正宏	公益財団法人宮崎市スポーツ協会
〃	抜屋博基	元宮崎県県立学校事務長会会長	〃	保田篤則	一般社団法人延岡市スポーツ協会
評議員	湯前英則	一般財団法人宮崎陸上競技協会	〃	郡山武弘	一般財団法人都城市スポーツ協会
〃	圖師直利	一般財団法人宮崎県水泳連盟	〃	山田　　一	日南市スポーツ協会
〃	中馬義郎	県バレーボール協会	〃	栗巣野　　弘	小林市スポーツ協会
〃	染矢儀傅	県軟式野球連盟	〃	黒木智美	日向市スポーツ協会
〃	當瀬純一	県ソフトテニス連盟	〃	岡留　　浩	串間市スポーツ協会
〃	坂元憲一	県卓球協会	〃	馬渡和利	西都市スポーツ協会
〃	重信和行	県弓道連盟	〃	小園栄一郎	えびの市スポーツ協会
〃	松岡眞史	県ラグビーフットボール協会	〃	三好益夫	児湯郡スポーツ協会
〃	日高博之	一般社団法人宮崎県サッカー協会	〃	佐藤幸男	西臼杵郡スポーツ協会
〃	矢野賢悟	県柔道連盟	〃	那須　　建	東臼杵郡体育協会
〃	矢野節男	県剣道連盟	〃	桑畑則幸	北諸県郡スポーツ協会
〃	土井祐二	県相撲連盟	〃	田上則昭	西諸県郡スポーツ協会
〃	久東真理子	県体操協会	〃	日高君彌	東諸県郡スポーツ協会
〃	斎藤昭年	県馬術連盟	〃	黒木章宏	県高等学校体育連盟
〃	日高誠紀	県クレー射撃協会	〃	兒玉正剛	県高等学校野球連盟
〃	新原祐治	県山岳・スポーツクライミング連盟	〃	島田亮介	県中学校体育連盟
〃	押川尚生	県ソフトボール協会	〃	長尾岳彦	県小学校体育連盟
〃	松岡弘高	県バドミントン協会	〃	内村仁子	県レクリエーション協会
〃	前﨑真一	県テニス協会	〃	齋藤孝二	県障がい者スポーツ協会
〃	横山　　尚	県ウエイトリフティング協会	〃	帖佐悦男	県スポーツ協会スポーツ医・科学委員会
〃	末廣芳文	県ハンドボール協会	〃	瀬尾洋二	公益財団法人宮崎県スポーツ施設協会
〃	末吉龍孝	県自転車競技連盟	〃	秋岡敬信	公益財団法人宮崎県観光協会
〃	渕ノ上文也	県レスリング協会	〃	興梠　　晃	県スポーツ推進委員協議会

「私たちは宮崎のスポーツを応援します」

《ご協力ありがとうございます》

本会の賛助会員として御入会を賜り、事業推進にご協力いただいております法人・企業・団体及び個人の皆様方の御芳名を掲載し、謹んで謝意を表しますとともに、2027年に開催予定の第81回国民スポーツ大会並びに第26回全国障害者スポーツ大会成功のため、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※本会は、税制上の「特定公益増進法人」に該当しますので、寄付金控除の優遇措置を受けることができます。

Ⅰ 法人・企業・団体会員（149会員）　（令和6年2月末日現在 敬称略）

アイワエ業株式会社
旭化成株式会社延岡支社
旭建設株式会社
アリストンホテル宮崎
一般財団法人みやぎん経済研究所
一般財団法人宮崎県水泳連盟
一般財団法人宮崎陸上競技協会
一般社団法人宮崎県サッカー協会
一般社団法人宮崎県バスケットボール協会
医療法人建悠会吉田病院
医療法人雅会河野整形外科
雲海酒造株式会社
江坂設備工業株式会社
SISビジョン株式会社
MLT株式会社
Mスポーツ整形外科クリニック
大塚製薬株式会社宮崎出張所
大淀開発株式会社
学校法人宮崎総合学院
学校法人旭進学園宮崎第一中学・高等学校
学校法人順正学園九州保健福祉大学
株式会社青島グランドホテル
株式会社UNDER RIVER
株式会社AAO
株式会社ams
株式会社AVC放送開発
株式会社エムアールティ・ミック
株式会社Kariy
株式会社タカヒラ SPORTS SHOP タカヒラ
株式会社共立電機製作所
株式会社KUROKI商事
株式会社黒木本店
株式会社興電舎
株式会社幸和
株式会社コム光成
株式会社児湯食鳥
株式会社坂下組
株式会社JTB宮崎支店
株式会社志多組
株式会社セキュリティサービス
株式会社テクノミックス
株式会社テレビ宮崎
株式会社デンサン
株式会社ニチワ
株式会社ニッショー
株式会社ニューウェルシティ宮崎
株式会社ヒロマエAZ
株式会社ほっかほっか亭宮崎地区本部
株式会社ホテルマリックス
株式会社南日本ネットワーク
株式会社宮交シティ
株式会社宮崎観光ホテル
株式会社宮崎銀行
株式会社宮崎新生社印刷
株式会社宮崎太陽銀行
株式会社宮崎ツアーサービス
株式会社宮崎日日新聞社
株式会社宮崎放送
株式会社明光社
株式会社メイトーテック
株式会社夕刊デイリー新聞社
株式会社ヨシダや
株式会社宮崎山形屋
神崎建設工業株式会社
北一株式会社
キューキ工業株式会社
協同紙工株式会社
京屋酒造有限会社
清本鐵工株式会社
霧島酒造株式会社
合資会社小川屋
公益財団法人宮崎県観光協会
公益財団法人宮崎県スポーツ施設協会
公益社団法人宮崎県柔道整復師会
興和商事株式会社
JTB協定旅館ホテル連盟宮崎支部
社会医療法人慶明会おび中央病院
大星電機株式会社
高鍋信用金庫
田中印刷有限会社
特定非営利活動法人宮崎県サーフィン連盟
野崎漬物株式会社
延岡信用金庫
フェニックスリゾート株式会社
弁護士法人衛藤法律特許事務所
丸山物産株式会社ホテルクレイン橘
南日本酪農協同株式会社
宮銀カード株式会社
宮銀デジタルソリューションズ株式会社
宮銀ビジネスサービス株式会社
宮銀ベンチャーキャピタル株式会社
宮銀リース株式会社
宮崎液化ガス株式会社
宮崎カーフェリー株式会社
宮崎ガス株式会社
宮崎空港ビル株式会社
宮崎ケーブルテレビ株式会社
宮崎県青島青少年自然の家
宮崎県運動具商協同組合
宮崎県弓道連盟
宮崎県グラウンド・ゴルフ協会
宮崎県ゲートボール協会
宮崎県高等学校体育連盟
宮崎県高等学校野球連盟
宮崎県銃剣道連盟
宮崎県柔道連盟
宮崎県スイミングクラブ協議会
宮崎県スケート連盟
宮崎県ソフトボール協会
宮崎県卓球協会
宮崎県中学校体育連盟
宮崎県なぎなた連盟
宮崎県軟式野球連盟
宮崎県馬術連盟
宮崎県バレーボール協会
宮崎県バドミントン協会
宮崎県ハンドボール協会
宮崎県武術太極拳連盟
宮崎県ボウリング連盟
宮崎県ボクシング連盟
宮崎県ホテル旅館生活衛生同業組合
宮崎県遊技業協同組合
宮崎県ライフル射撃協会
宮崎県ラグビーフットボール協会
宮崎県レスリング協会
宮崎交通株式会社
宮崎酸素株式会社
宮崎紙工印刷株式会社
宮崎第一信用金庫
宮崎日産自動車株式会社
宮崎ひむかライオンズクラブ
宮崎ヤクルト販売株式会社
民宿美波
名鉄観光協定旅館連盟宮崎地区会
米良電機産業株式会社
有限会社アーキコスモ
有限会社いろは企画
有限会社かわにしスポーツ
有限会社郡山板金工業所
有限会社創和
有限会社TOPIKA
有限会社橋本商会
有限会社マイルストーン

他 匿名6会員

Ⅱ 個人会員（51会員）

秋田義久	植松義文	鎌田伸次	木宮浩二	菅 薫	土井智喜	橋田和実	丹生進一
朝比奈 紀行	尾形洋子	上江田 安博	財津吉長	谷口行孝	東長達也	原口宏史	宮田育俊
新木るり	押川尚生	川崎重雄	斉藤重保	田村 司	得能 剛	平本 修	森 隆茂
入倉俊一	甲斐藤昭	川添健一	坂口和隆	黒葛原 朱美	長友寧雄	古川康二	米丸 麻貴生
岩切正義	鹿島 庄一郎	河内徳康	佐多裕之	水迫 勇	中村嫁苗	古木克浩	若林繁幸
上杉聡視	片山真貴	河野 順	重信和行	寺園圀順	中村正親	松本守人	他 匿名4会員

Ⅲ 「Sports for all」推進費付き自動販売機設置（4台）

グランデ大島　バドミントンショップIBS　株式会社デンサン本館　株式会社デンサン新館

紡ぐ感動　神話となれ

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ

第81回国民スポーツ大会　2027　第26回全国障害者スポーツ大会

2027年（令和9年）国内版オリンピック・パラリンピックを宮崎で開催!

国スポ（国民スポーツ大会〈令和5年までの国体〉）とは、毎年、都道府県持ち回りで開催される**国内最大のスポーツの祭典**です。競技得点の合計を競い合う都道府県対抗方式で行われ、天皇杯（男女総合優勝）と皇后杯（女子総合優勝）を目指し、熱い戦いが繰り広げられます。

障スポ（全国障害者スポーツ大会）も、毎年、国スポを開催した都道府県で開催される**全国的な障がい者スポーツの祭典**です。

両大会とも、宮崎での開催は、1979年（昭和54年）以来、**48年ぶり**です。

こめられた思い

愛　称　『日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ』
大会に参加する選手たちの「ひなた」のような輝きで、全国に元気・勇気・感動を広げたい

スローガン　『紡ぐ感動　神話となれ』
大会を通して生まれる絆や感動が、「神話」のように語り継がれる大会になってほしい

みんなで紡ごう! かけがえのない経験を未来のわたし達へ

～あなたも、わたしも、大会のキャスト（出演者）です～

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 公式HP・SNS

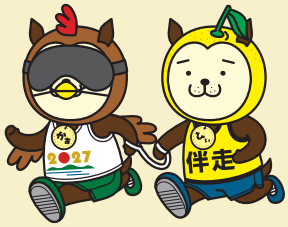
大会準備の日々のあれこれ、イベントなど、
大会に関する情報を配信中です♪
フォローお願いします!

ホームページ　Instagram　X（Twitter）

県有主要3施設整備の状況(令和6年1月現在)

(仮称) 新宮崎県陸上競技場

(令和6年12月完成予定)



日本陸上競技連盟の第１種公認を取得する新たな陸上競技場を都城市に整備中です。敷地内では、投てき練習場や補助競技場等の整備も行われます。

施設内には、更衣室等の関連諸室のほか、トレーニング室、会議室、屋内走路等が整備されます。

アスリートタウン延岡アリーナ

(令和7年12月完成予定)

メインアリーナとサブアリーナを備えた新たな県体育館を延岡市に整備中で、サブアリーナは令和５年８月から供用開始しています。

施設内には、更衣室等の関連諸室のほか、トレーニング室、多目的室(地域武道センター)、会議室等が整備されます。

(仮称) 新宮崎県プール

(令和6年12月完成予定)

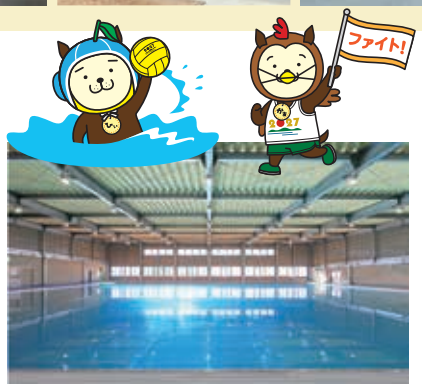
長水路及び短水路の国内公認を取得する50mプール及び25mプールを宮崎市に整備中です。

施設内には、更衣室等のプール関連諸室のほか、トレーニング室、多目的室、会議室、クライミングウォール等が整備されます。

練習拠点施設整備の状況（令和5年11月現在）

アーチェリー場
〈延岡星雲高校〉
（令和3年12月完成）

県内唯一のアーチェリー部がある延岡星雲高校に整備されました。標的距離は、国スポの７０m、障スポの５０m、３０mのほか、初心者向けに１８mの練習にも対応できます。現在、国スポ・障スポの強化拠点として活用されています。



水球プール
〈宮崎工業高校〉
（令和4年12月完成）

県内唯一の水球部がある宮崎工業高校に、水球競技規格（３０m×２０m×水深２m）を満たすプールが整備されました。学校のプールの授業でも使える造りとなっており、通路の壁には一部県産杉材が使用されています。

相撲場
〈延岡星雲高校〉
（令和5年1月完成）

延岡星雲高校に相撲場が整備されました。土俵の土は、大相撲の土俵と同じ荒木田土という特殊な土が使われており、ジュニア選手育成の場としての活用が期待されます。また、練習場内の壁には県産杉材が使用されています。

県内初の体操場が宮崎市村角町に整備されました。公認種目の体操器具を常設し、高難易度の技を安全に練習できる体操用ピットを備えており、内装には県産杉材が使用されています。

体操場
〈宮崎北高校〉
（令和5年8月完成）

照明
〈ひなた県総合運動公園補助球技場〉
（令和5年11月完成）

ひなた県総合運動公園補助球技場に照明設備が整備されました。補助球技場は主にサッカーやラグビーなどの競技に使用されており、この照明設備により夜間の練習等が可能になるため夏場の暑さ対策や、練習時間の拡大が期待されます。

紡ぐ感動 神話となれ

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ

第81回国民スポーツ大会 2027 第26回全国障害者スポーツ大会

2027年開催内定!「日本のひなた宮崎国スポ」

宮崎国スポ天皇杯獲得に向けて、あなたと共に進みたい「道」がある!!

宮崎県では、県選手団の一員として国民スポーツ大会を共に戦う仲間を求めています!

「道」その1 特別選考採用教員

高い競技実績を有するアスリートを宮崎県内の正規教員として採用し、選手として活躍するとともに、競技引退後も専門性を生かし、授業や部活動指導において力を発揮するアスリート教師の道！

「道」その2 宮崎県教育委員会スポーツ専門員

全国クラスの高い競技実績を有するアスリートを県教育委員会の正規職員として採用し、トップ選手として活躍するとともに、県内のスポーツ行政等の業務に携わるアスリート公務員の道！

「道」その3 宮崎県内自治体等職員

県内市町村や関係団体等の正規職員として勤務し、地域行政やスポーツの振興に携わりながら、選手として活躍するアスリート公務員の道！　※ 現時点では未定であり、今後展開されていく予定。

「道」その4 競技力向上推進員

全国クラスの高い競技実績を有するアスリートを宮崎県スポーツ協会で非常勤職員（期限付き）として雇用し、宮崎県の競技力向上やスポーツの振興に幅広く従事しながら、選手としてさらなる高みを目指すアスリート職員の道！

「道」その5 民間企業等雇用「ひむかアスリート・ジョブサポートセンター」

宮崎国スポでの活躍を目指すアスリートと県内企業等を雇用マッチングし、正規職員として仕事と競技活動の両立を目指すアスリート職員の道！

ひむかアスリート・ジョブサポートセンター

LINE 公式アカウント

はじめました!!

すべての「道」の入口はココから ⇒

まずは友だち追加をお願いします!

〒880−8501　宮崎県宮崎市橘通東2丁目10番1号
宮崎県競技力向上推進課（ひむかアスリート・ジョブサポートセンター）
TEL:0985−26−7594 ／ FAX:0985−44−2613 ／ MAIL:kyogiryokukojo@pref.miyazaki.lg.jp

Sports radio
CHEERS

毎週日曜日　あさ 10:00〜10:30 O.A.

県内外で活躍するアスリートや指導者などをゲストに迎え、
貴重なトークや思い出の一曲をお届けします。

mrtアプリ
スポーツ情報配信中！

ダウンロードは
こちらから

元気な未来と
健やかな地球を
子どもたちへ

Mera Group Corporation
米良企業グループ

米良電機産業株式会社　さくら電機産業株式会社　株式会社くまもと電設資材　株式会社共立電機製作所　株式会社共立電照

〒880-0802 宮崎市別府町4番33号 TEL 0985-24-6855 FAX 0985-25-6615 URL http://www.mera-denki.co.jp 営業所／宮崎・宮崎西・高鍋・日南・高千穂・延岡・日向・都城・西諸・志布志・鹿屋・国分・鹿児島・人吉

MSG大原カレッジリーグ

学校法人 宮崎総合学院　文部科学省「職業実践専門課程」認定学科設置校

- 宮崎情報ビジネス専門学校
- 大原簿記公務員専門学校 宮崎校
- 宮崎福祉医療カレッジ
- 宮崎ペットワールド専門学校
- 宮崎サザンビューティ専門学校
- 小林看護医療専門学校

学校法人 九州総合学院　文部科学省「職業実践専門課程」認定学科設置校

- 九州医学技術専門学校
- 九州工科自動車専門学校
- 鹿児島情報ビジネス公務員専門学校

令和6年4月開校
宮崎こども・医療専門学校

クラーク記念国際高等学校連携校 宮崎キャンパス

指定管理事業部

宮崎県青島青少年自然の家　宮崎県むかばき青少年自然の家　宮崎県御池青少年自然の家　宮崎県建設技術センター・宮崎県産業開発青年隊
宮崎市民文化ホール　宮崎市生目の杜運動公園　県立農業大学校農業総合研修センター・宮崎県農業科学公園　鹿児島県立霧島自然ふれあいセンター

キッズ教育サービス

学校法人平和台学園いずみ幼稚園　企業主導型保育所わくわく保育園
独立行政法人国立病院機構院内保育所（熊本再春医療センターめだか保育園・熊本南病院ひまわり保育園・熊本医療センターニの丸保育園）

社会福祉法人　つよし会
つよし学園・つよし寮・つよし共働センター　株式会社九州コミュニティーカレッジ　株式会社川越本店　川越株式会社

ホームページへアクセス！
https://www.msg.ac.jp
MSG 大原カレッジリーグ　検索

〒880-0802 宮崎市別府町４番１９号
Tel.0985-22-0658

MRT micc パーティープラン

お一人様
5,000円プラン
お食事 8~9種

瓶ビール（お一人様1本）、焼酎
ウイスキー、ハイボール、ウーロン茶
オレンジ、コーラ

お一人様
6,000円プラン
お食事 10~11種

瓶ビール、ノンアルコールビール、焼酎
ウイスキー、ハイボール、ウーロン茶
オレンジ、コーラ、ワイン、日本酒

※飲食料・会場使用料・音響使用料・サービス料・税込

○オプションプランもご用意可能です。詳しくは担当者とご相談ください。
○上記プランは2時間制となります。2時間を超える場合は超過料金が発生します。
○プラン内容によっては音響・照明のオペレーター費が別途かかる場合がございます。
※上記につきましては、予め担当者へご相談ください

○お食事は和洋中折り交ぜたオリジナルメニューになります。
○看板、垂れ幕などの制作も承ります。

学生＋保護者向けプラン

（謝恩会・祝賀会・卒部式など）

2時間プラン

大　人	4,500 円
高校生	3,500 円
中学生	3,000 円
小学生	2,500 円

3時間プラン

大　人	5,000 円
高校生	4,000 円
中学生	3,500 円
小学生	3,000 円

※飲食料・会場使用料・音響使用料・サービス料・税込

○大人の方（保護者・先生など）のご参加は20名様以上でお願いいたします。
○上記プランは各会の開始から終了までのお時間となります。
○終了時間から30分以上超過した場合、お一人様500円の追加料金が発生します。
※上記につきまして、予め担当者へご相談ください。

▲ダイヤモンドホール 円卓 最大300名様収容

▲エメラルドホール　円卓 最大80名様収容

店舗紹介

BF 無印良品宮崎MRTミック店
衣料品・生活雑貨・食品

1F ミニプラ宮崎micc店
化粧品・輸入雑貨

1F タマチャンショップ宮崎micc店
自然派食品・ドリンク

MRT micc
〒880-0001　宮崎市橘通西4丁目6番3号
TEL：0985-22-1111

詳細はホームページにて　ミック インスタグラム

宮崎県知事（般-28）第4724号

有限会社

郡山板金工業所

代表取締役社長　　郡　山　信　行

事務所　宮崎市祇園3丁目7番地
TEL　0985-24-3500
FAX　0985-24-3500
工　場　宮崎市祇園3丁目86-1
TEL　0985-29-5323

宮崎県立大宮高校体育館
屋根工事施工
2004年　　新設

屋根工事専門業者

宮崎市防災協力事業所
MIYAZAKI CITY
当事業所は、防災協力事業所として、
地域の安全と安心を守ることに協力します。
登録番号：
登録年月日：

ご予約・お問い合わせ先

団体 営業部 旅客営業課 TEL 0985-29-8077 (平日9:00~17:00/土日祝 休み)

一般 九州予約センター TEL 0985-29-5566 (平日9:00~17:00/土日祝9:00~12:00)

ITで宮崎を豊かに

― 50年以上変わらないデンサンの想いです ―

DENSAN

システム・アプリ開発支援

"見やすさ""使いやすさ"を追求した「誰でも使える」アプリを開発します

社内DX推進支援

お客様がゴールをイメージしやすい『DXお品書き』をご用意しております。

IT業界50年越えの経験

50年以上の確かな経験と豊富な実績。これからもお客様とともに歩み続けます。

デンサン社員インタビュー

モバイルのフル活用
／アプリエンジニア

AIやAR・VRと連携し、モバイルをフル活用できるハイパフォーマンスアプリ開発が目標です。

Check！

コミュニケーションの形
／セールスエンジニア

お客様の反応を間近に感じながら、お客様のニーズにあったソリューションを考え、ご提案することに面白さを感じています。

株式会社デンサン　宮崎市大字赤江字飛江田224番地　TEL:0985-56-4111

私たち南日本ネットワークは
宮崎のスポーツを全力で
応援します！！

私達は、ICT で社会や生活を便利に

豊かにしていくことを目指します。

ICTで未来をつなぎ、
ネットワークで心をつなぐ MNC

株式会社　南日本ネットワーク

宮崎県宮崎市橘通東 3 丁目 6 番 29 号
TEL 0985-22-5091　FAX 0985-29-7787
URL https://www.si-mnc.jp/

ICT に関するお困りごとを全力でサポートいたします。

「テレビ本体」のレンタル
4Kブラビアパック はじめました！

43V 型～ 75V 型まであります

4K 液晶ディスプレイ 43V 型

月額 1,980円(税込)～

MCN 宮崎ケーブルテレビ フリーコール 0800-300-8585

宮崎駅から徒歩3分　緑あふれる文化の森のホテル

宮崎ガスグループ

New Wel City

ホテル ニューウェルシティ宮崎

ウェディング・会議・宴会・宿泊・レストラン

880-0879 宮崎市宮崎駅東1丁目2-8　TEL. 0985-23-3311

あなたにいちばん近いリゾート、宮崎シーガイア。

次の休みは、いちばん近いリゾート「シーガイア」へ。
海外リゾートのような開放感と、
日本でいちばん“美味しい”体験を
ご用意してお客様をお待ちしています。

Enjoy Resort Stay

PHOENIX SEAGAIA RESORT

フェニックス・シーガイア・リゾート

詳しくは WEBへ

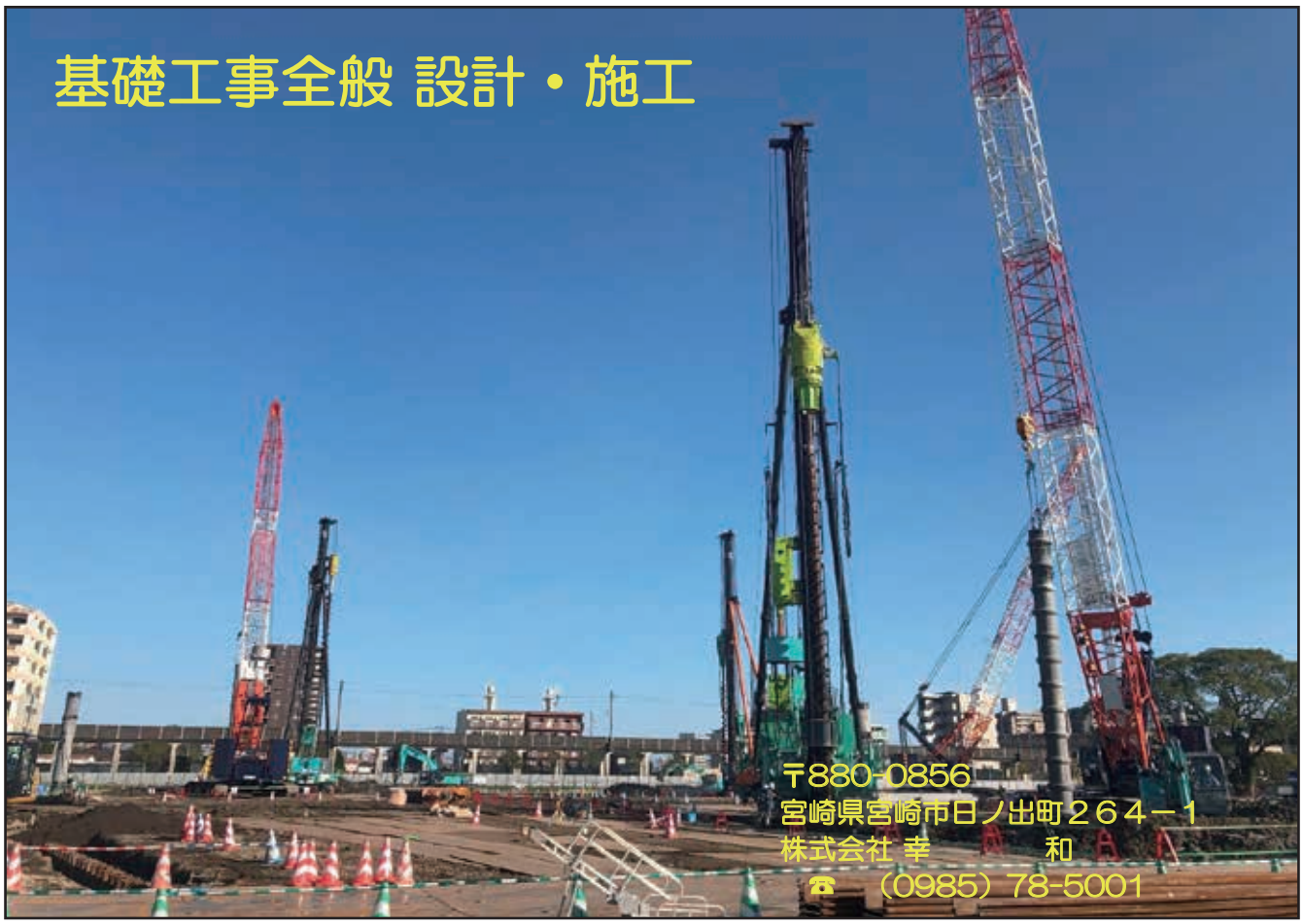
スポーツを愛する皆さんを応援します！

かわにしスポーツ

スポーツに関するお困りごとはお気軽に下記からお問い合わせください。

KAWANISHISPORTS WEBSITE

LINE 公式アカウント
友達登録で特典あり!!



宮崎市江平中町7-10

☎0985（23）6261　https://www.meikousha.co.jp/

明光社ホームページ

愛知・岐阜・三重県下103拠点に信頼のネットワークを展開!!

お部屋探しは「いい部屋発見!!」のニッショーにおまかせください。

国土交通大臣免許(13)第2018号

株式会社ニッショー

〒462-8501 名古屋市北区城見通2丁目10番地1　TEL:052-912-1001(大代表)

グループ代表　加治佐 健二(宮崎県えびの市出身)

株式会社ニッショーホールディングス　https://www.nissho-apn.co.jp　ニッショー　検索

株式会社ニッショー.JP
- ◆賃貸検索サイトによる物件情報発信・運営・管理
- ◆Webサイトを中心としたマーケティング業務

株式会社ニッショーライフ
- ◆分譲マンション・オフィスビル管理
- ◆昇降機・消防設備の保守および法定点検

株式会社リアルエスト
- ◆賃貸住宅の一括借上　◆不動産利用に関する企画

株式会社ニッショー住販
- ◆宅地建物の販売および仲介
- ◆不動産の活用に関するコンサルティングおよび企画・設計

株式会社レグリオ
- ◆家賃債務保証業務　◆賃貸管理業務

株式会社セイワ
- ◆建物内外の保守管理・清掃業務　◆建築物の営繕工事

必要なときに必要な数だけお届けします。

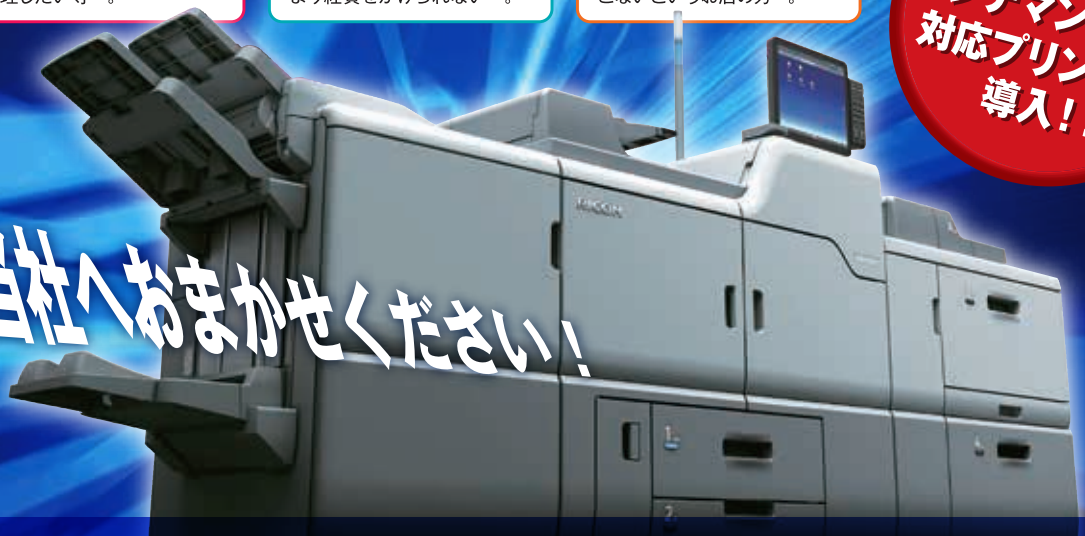
時代は小ロットへシフト——。ムダを削り、最小のコストで最大の効果を発揮します！

撮りためた写真を写真集にしたい！
子供の成長記録を撮ってきたけど写真集にまとめて写真を整理したい等…。

会社案内や新製品の紹介チラシに！
新製品を作ったけど、どの程度売れるかわからないのであまり経費をかけられない…。

レストランや居酒屋のメニュー等に！
メニューは手書きやパソコンで作っているけど、どうもしっくりこないというお店の方…。

富士写真印刷にオンデマンド出力対応プリンター導入!!



当社へおまかせください！

富士写真印刷

〒880-0212 宮崎市佐土原町下那珂7418-2

(0985)74-2179(代)

■FAX:(0985)74-3066

■E-mail:FPC@fuji-p.jp

ARISTON
HOTELS

宮崎一の繁華街「ニシタチ」に位置し、ビジネス・観光に
便利な立地にあるホテルです。
宮崎の食材をふんだんに使った郷土料理や定番メニューなど、
品数豊富な朝ごはんバイキングが大好評です。

アリストンホテル 宮崎
(0985)23-1333 (0985)23-1456
〒880-0001 宮崎県宮崎市橘通西3丁目1-1 https://www.ariston.jp/miyazaki/

おかげさまで50周年
株式会社AVC放送開発

〒880-0925 宮崎県宮崎市本郷北方2753-5
TEL 0985-51-9703 FAX 0985-53-8922
https://www.avc-hk.co.jp/

第８１回国民スポーツ大会

第２６回全国障害者スポーツ大会

みんなの力で成功させよう

宮崎県ソフトボール協会

名誉会長　中邑　芳邦
会　長　　押川　尚生
副会長　　高尾　雄平　松岡　保　森　太
理事長　　平本　修
事務局長　永野　通夫

宮崎県スケート連盟

設立年月日：昭和47年9月30日
宮崎県体育（スポーツ）協会加盟承認：昭和47年11年27日
日本スケート連盟加盟承認：昭和48年11月15日

（歴代会長）　初　代　土持　　真　氏（昭和49年～昭和59年）
第2代　坂口　鉄夫　氏（昭和60年～平成18年）
第3代　坂元　士郎　氏（平成19年～ 令和５年 ）

（沿革）

○ 昭和47年9月30日
日高薫昭氏により「宮崎県スケート連盟」が発足。

○ 昭和48年3月30日
宮崎県で初めて『FDテスト』を開催。宮崎アイスパレスにて行い、1級1名、初級8名合格。

○ 昭和49年2月1日
宮交スポーツセンターに事務所を開設。

（宮崎県勢のこれまでの出場及び入賞）

昭和50年：第30回冬季国体（山梨大会）スピードスケート初参加
昭和52年：第32回冬季国体（八戸大会）フィギアスケート初参加
昭和56年：第36回冬季国体（山梨大会）成年女子第3位（田之上洋子選手）
平成　4年：第47回冬季大会（山形大会）フィギア少年男子第6位（菅　望選手）
平成　6年：第49回冬季大会（群馬県前橋大会）フィギア成年男子第5位（菅　望選手）

◆ 編集後記 ◆

令和5年度における全ての事業が無事に終了しましたことを御報告いたしますとともに、関係の皆様の御理解と御協力に心より感謝申し上げます。

本年度は、計画しておりました様々なスポーツイベント等を、新型コロナウイルスの影響を受けることなく実施することができました。

その中で、第43回九州ブロック大分大会、特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」が開催されました。特にかごしま国体では、駆けつけた多くの皆様の応援が選手や指導者に戦う勇気と力を与えてくれました。その結果、前年度の栃木国体を大きく上回る天皇杯27位を獲得し、目標であった20位台を達成することができました。これもひとえに、選手団の県代表としての誇りとたゆまぬ努力、関係の皆様の熱い思いと結束力の賜であると思います。その労をねぎらうとともに、新年度のさらなる飛躍を期待しております。

本年7月には「第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会」の宮崎県での開催決定が出る予定です。さらに、2024佐賀国スポの出場権獲得をかけた「第44回九州ブロック大会」が県内各地で実施されます。この大会は、3年後に迫った本大会の機運醸成や競技力向上に繋がるものと考えております。ぜひ会場に足をお運びいただき、「がんばれ宮崎」の声援で選手達の背中を押していただけると幸いです。

また、これまでに126名の修了生を送り出した「宮崎ワールドアスリート発掘・育成プロジェクト」は8年目が終わろうとしてます。修了生は、全国大会での入賞や年代別日本代表への選出など、期待通りの活躍をしてくれています。今後も2027宮崎国スポでの主力選手としてだけでなく、本県や日本のスポーツ界を牽引する人材として育ってくれることを願っています。

この度は、広報誌「宮スポ協223号」の発刊にあたり、御多用にもかかわらず寄稿や資料提供をしていただいたことに感謝申し上げます。

本協会は、今後も宮崎県スポーツの発展のため努力してまいります。変わらぬ御理解と御協力をお願い申し上げ編集後記といたします。

【事務局】

公益財団法人 宮崎県スポーツ協会
〒889-2151　宮崎市大字熊野字島山1443-12
ひなた宮崎県総合運動公園受付･案内所2F
TEL 0985-58-5633　FAX 0985-58-5630
E-mail / miyazakiken@miyaspokyo.or.jp

【発行所】

公益財団法人宮崎県スポーツ協会
編集発行人　専務理事　藤本　格

【表紙写真】

清山 ちさと さん（陸上競技）
原　希美 さん（ハンドボール競技）

新デザインポロシャツ・Ｔシャツ完成！！

２０２７宮崎国スポ・障スポに向けて機運醸成のために、これまでのデザインとは別に新たなデザインも展開していきます！

１　デザインコンセプト　※ポロシャツ・Ｔシャツ同デザインです。

team 宮崎の T は（プラス）をイメージし、胸のスローガンに繋がるような活躍や 2027 にチーム宮崎が想いを一つにすることで、プラスαの力を発揮できるような願いを込めて、スローガンの色と T の色を合わせてデザインしています。

県番号４５のアンダーラインは、１巡目国体のロゴカラーをオマージュして制作しました。

2027 国スポ・障スポのスローガンをイメージした文章です。

県立日南高校の永友大蔵教諭(宮崎県書道協会副会長)に書いていただきました。

２　ここが違う！

⑴値段が安い！　　ポロシャツ 2,500 円　Ｔシャツ 1,800 円！

従来のものと多少生地の違い(厚み)はありますが、機能的には問題ありません。

⑵カラーバリエーションが豊富！

⑶追加デザインも可能！

背中の基本デザインの下に、団体名を入れることも可能です。ただし、版代が別途かかりますので金額は高くなります。

⑷あらゆるサイズに対応します！

SS、S、M、L、ＬＬ、３Ｌ、４Ｌ、５Ｌ、それ以上のサイズは、別途対応します。

⑸販売方法が変わります！

申し込みは、従来通り、ＨＰ、電話、アプリ、ＦＡＸで対応しますが、支払い、納品については、販売店対応となります。

宮崎スポ協 vol.223　令和6年3月発行
発行所／公益財団法人 宮崎県スポーツ協会　〒889-2151 宮崎市大字熊野字島山1443-12 ひなた宮崎県総合運動公園受付・案内所2F
編集発行人／藤本　格　TEL 0985-58-5633 FAX 0985-58-5630 E-mail miyazakiken@miyaspokyo.or.jp

すべての スポーツに エールを

スポーツくじの収益は、
日本のスポーツを育てるために
使われています。

くじを買うはエールになる

スポーツくじ　WINNER SOCCER・BASKETBALL　toto FOR ALL SPORTS OF JAPAN　BIG

⑱19歳未満の方の購入又は譲り受けは法律で禁じられています。払戻金も受け取れません。運営・販売：独立行政法人日本スポーツ振興センター